

日本気象学会 2013 年度秋季大会 企業展示機関一覧

今大会の開催期間中，以下の各機関による展示が行われます(2013 年 9 月 24 日現在；50 音順)．

英弘精機株式会社

HPCシステムズ株式会社

株式会社ブリード

三菱電機特機システム株式会社

明星電気株式会社

大会行事予定

A 会場	: 大会議室「橘」	(2 階)	シンポジウム・授賞式会場: 大ホール	(2 階)
B 会場	: 大会議室「萩」	(2 階)		
C 会場	: 展示・レセプションホール「桜 2」	(2 階)	受付	: 2 階ロビー (2 階)
D 会場	: 中会議室「白樺 1」	(3 階)	大会事務局: 小会議室 4	(2 階)
ポスター会場	: 展示・レセプションホール「桜 1」	(2 階)	懇親会	: 展示・レセプションホール「桜 1」 (2 階)

() は講演数, — — は座長

		A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
11 月 19 日 (火)	09:45～ 12:30	気候システム I (17, A101～A117) —釜堀弘隆— —川瀬宏明—	竜巻・雷 (19, B101～B119) —横田 祥— —新井健一郎—	物質循環 I (13, C101～C113) —田中泰宙—	大気力学 (9, D101～D109) —伊賀啓太— 大気境界層 (9, D110～D118) —菅原広史—
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「全球降水観測計画 「GPM」主衛星打上げ と新たな降水観測」 (16, A151～A166) —可知美佐子— —広瀬正史—	スペシャル・セッション 「航空機観測による大 気科学・気候システム 研究」 (12, B151～B162) —青木周司— —佐藤正樹—	スペシャル・セッション 「中緯度海洋前線近傍 の大気海洋現象」 (17, C151～C167) —飯塚 聡— —万田敦昌—	熱帯大気 (12, D151～D162) —横井 寛— 台風 (13, D163～D175) —伊藤耕介—
	17:00～ 18:00	ポスター・セッション (104, P101～P1a4)			
11 月 20 日 (水)	09:15～ 12:00	気候システム II (18, A201～A218) —早崎将光— —青柳曉典—	降水システム I (19, B201～B219) —真木雅之— —牛山朋来—	物質循環 II (14, C201～C214) —安成哲平—	観測手法 (17, D201～D217) —山本真之—
	13:00～ 13:50	山本正野論文賞・堀内賞・奨励賞授与			
	13:50～ 15:20	山本正野論文賞・堀内賞受賞記念講演			
	15:30～ 17:45	シンポジウム「二酸化炭素研究の新展開」 司会: 青木周司 基調講演: 森本真司, 川村賢二, 横田達也, 真木貴史, 伊藤昭彦			
	18:00～ 20:00	懇親会			
11 月 21 日 (木)	09:15～ 11:30	データ同化・気象予報 (15, A301～A315) —黒田 徹—	降水システム II (15, B301～B315) —前島康光— —中井専人—	スペシャル・セッション 「気象情報の活用およ び気象予報士にでき ること」 (6, C301～C306) —岡留健二— 気象教育 (7, C307～C313) —筆保弘徳—	中高緯度大気・相互作用 (10, D301～D310) —森岡優志—
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (104, P301～P3a4)			
	13:30～ 17:00	スペシャル・セッション 「雲エアロゾル放射観測 衛星「EarthCARE」の 打ち上げに向けて」 (18, A351～A368) —岡本 創— —藤吉康志—	スペシャル・セッション 「近年における日本の 冬の気象: 気候変動, 遠隔応答の枠組みか らの理解」 (14, B351～B364) —本田明治— —猪上 淳— —高谷康太郎—	スペシャル・セッション 「大気-陸面間の水・エネ ルギー・炭素フラック スに関する最新研究 2013」 (18, C351～C368) —吉田龍平— —佐々井崇博— —小谷亜由美—	中層大気 (13, D351～D363) —黒田友二— 大気放射 (11, D364～D374) —石元裕史—

発表件数: 540 件 (口頭発表 332, ポスター 208)

口頭発表の講演・質疑時間: 6 分と 2 分

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenikikaku2013a@metsec.or.jp) まで。

大会参加費・懇親会費

大会参加費

- 大会参加費は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。
- シンポジウムのみに参加する場合は、参加費は無料です。

懇親会費

- 懇親会費は以下の表の通りです。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	4,000 円	5,000 円
学生	2,000 円	3,000 円

支払方法

- 講演者の参加費の支払い方法は前納のみとなっており、既に受付は締め切られています。
- 懇親会費及び聴講者の参加費を前納する場合は、大会ホームページにて 2013 年 9 月 17 日（火）までにお支払下さい（郵便振替の場合は 2013 年 9 月 10 日（火）まで）。それを過ぎた場合は当日払いとなります。

領収書

- 領収書は参加者本人の名義で、大会当日受付にて名札と一緒に手渡される予定です。
- 名義の変更が必要な場合には再発行が可能ですので、大会当日受付にてお申し出下さい。

その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 参加費・懇親会費には会員・非会員の区別はありません。
- 非会員の方も規定の参加費・懇親会費をお支払い頂ければ大会・懇親会に会員と同様に参加することができます。

講演の方法

口頭発表（スペシャル・セッションを含む）

- 一般口頭発表の講演 1 件あたりの持ち時間は 8 分（講演 6 分・質疑 2 分）です。
- スペシャル・セッションの発表時間については世話人からの指示に従ってください。
- 講演には PC プロジェクターを使用できます。
- 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をとることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦 180 cm × 横 120 cm 程度となっています。
- ポスターの掲示には画紙・ピンが使用できますが、テープ類は使用できません。これらは発表者自身で準備してください。
- ポスターの掲示可能時間は以下の通りです。会場の都合上時間厳守でお願いします。
 - ✓ 第 1 日の発表者は 11 月 19 日 13:00～18:00
 - ✓ 第 3 日の発表者は 11 月 21 日 09:00～13:00
- ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。

保育施設の紹介について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設として、次の施設を紹介します。

「ワールド・キッズ保育園」

住所：仙台市青葉区大町2丁目11-12

（仙台国際センターから徒歩10～15分）

TEL：022-265-1722

施設を利用される場合は、利用日の前日17時までに利用者

が直接お申し込みください。

また、保育施設利用料の一部補助を行う予定です。上記の施設以外の保育施設を利用される方もこの対象になります。いずれかの施設を利用される方は下記までご連絡ください。

連絡先：折笠 成宏（仙台管区気象台）

TEL：022-297-8160, FAX：022-297-5615

E-mail：norikasa@met.kishou.go.jp

シンポジウム「二酸化炭素研究の新展開」

日時：大会第2日（11月20日〔水〕） 15:30～17:45

会場：仙台国際センター 大ホール

司会：青木周司（東北大学）

※シンポジウムの聴講は無料です。一般の方も参加できます。

趣旨

二酸化炭素（CO₂）は最も重要な温室効果気体であり、その大気濃度は、産業革命以降、急激に増加し続けてきました。このような濃度増加は、主に化石燃料消費や森林破壊などの人間活動によるものであり、今後もこの傾向は続くと考えられます。しかし、どこからどれだけのCO₂が放出され、それが大気中をどのように輸送され、どこにどれだけ吸収され、結果として大気にいくら残るか、といった地球規模の循環について正確な理解が得られているわけではありません。一方、CO₂濃度増加率の年々変動に着目すると、エルニーニョ現象や大規模な火山噴火と良い相関があることが見出されており、これらの現象によって引き起こされる気候変化が、地球規模のCO₂循環に影響を与えるためだと考えられています。また、人間活動の影響が無かった遠い過去には、氷期・間氷期といった大規模な気候変動に同期して大気中のCO₂濃度が大きく変化していたことが、氷床コア研究によって明らかにされています。このように、大気中のCO₂濃度は、人為的な要因と自然的な要因が複合して複雑な変動を示します。地球温暖化が顕在化しつつある今日において、地球規模のCO₂循環を明らかにし、人間活動による今後の大気CO₂濃度の推移を予測することが非常に重要な課題になっています。この課題を解決するために学際的な研究が広く展開されており、新たな成果が得られつつあります。今回のシンポジウムでは、CO₂研究の最先端を紹介し、今後の展望について議論します。

基調講演

「大気観測に基づく地球規模炭素循環の研究」
「氷床コア分析による過去のCO₂の復元」
「GOSAT および GOSAT-2 による CO₂ 観測」
「データ同化と大気輸送モデル」
「生物圏の炭素循環モデリング」

森本真司（東北大学）
川村賢二（国立極地研究所）
横田達也（国立環境研究所）
眞木貴史（気象庁気象研究所）
伊藤昭彦（国立環境研究所）

総合討論

スペシャル・セッションの概要紹介

全球降水観測計画「GPM」主衛星打上げと新たな降水観測

日時：大会第1日（11月19日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：全球降水観測計画「GPM（Global Precipitation Measurements）」は、日米（JAXA/NASA）を中心とした各国宇宙機関の協力で進められている。日米共同開発のGPM主衛星は、2014年初めの種子島宇宙センターからの打上げを控え、現在米国NASA/GSFCにおいて組み立てと試験を実施中である。本衛星にはJAXAと情報通信研究機構が開発した二周波降水レーダ（DPR）が搭載される。熱帯降雨観測衛星 TRMM 搭載のレーダと同様のKu帯に固体降水にも感度を持つKa帯を加えて、北緯65度から南緯65度までの降水の3次元観測を可能にする。GPMは、このDPR観測を核に、マイクロ波放射計搭載のコンステレーション衛星（GCOM-W1を含む）が連携し、ほぼ全球の降水を高頻度高精度で測定する計画である。本セッションでは、間近に迫るGPM主衛星の打上げにより期待される新たな降水観測について議論し、より多くの気象研究お

2013年10月

よび応用研究への有効利用を促進することを目的とする。
世話人：沖理子（宇宙航空研究開発機構）、高藪緑（東京大学大気海洋研究所）、中村健治（獨協大学）、井口俊夫（情報通信研究機構）、牛尾知雄（大阪大学）

航空機観測による大気科学・気候システム研究

日時：大会第1日（11月19日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：地球温暖化を含む地球環境問題に対応するには、地上や人工衛星からの観測に加えて航空機を用いた地球観測システムの構築と、そのための広い分野の研究者が長期的な視点から利用できる航空機の運用体制を確立することが必要である。先端的な計測器を用いた航空機による直接観測は対流圏全域を観測可能であるとともに、測定項目、精度、時空間分解能の点で優れている。本セッションでは地球観測専用の航空機の保有・占有と、それを用いた地球観測・監視システムの構築へ向けての展望を議論することを目的とする。航空機観測により成果が期待される重要課題としては、温室効果気体の変動と循環、エアロゾル・雲・

降水相互作用、越境大気汚染、台風・集中豪雨・メソ降水システムの解明などなどがある。また雪氷・海氷の動態解明や陸域・沿岸・海洋生態系観測など多くの課題への応用も期待される。これら多様な課題において、これまでの航空機観測の研究成果や観測専用機導入後の研究計画などについての発表を期待する。

世話人：小池真（東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻）、新野宏（東京大学大気海洋研究所）、近藤豊（東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻）、佐藤正樹（東京大学大気海洋研究所）、青木周司（東北大学大学院理学研究科付属 大気海洋変動観測研究センター）、篠田太郎（名古屋大学地球水循環研究センター）

中緯度海洋前線近傍の大気海洋現象

日時：大会第1日（11月19日）13:30～17:00

場所：C会場

趣旨：黒潮に代表される西岸境界流が運ぶ膨大な熱や縁辺海での海陸分布などにより、中緯度海域には温度コントラストが顕著な海洋前線が形成される。近年の人工衛星、データ解析、高分解能数値モデルによる実験などから、海洋前線は低気圧の急速な発達や下層雲の形成、梅雨期の降水システム、さらに海盆スケールの気候形成など様々な時間・空間スケールの大気現象に対して影響を与えていることが明らかになりつつある。また、最近の研究において顕著な水温上昇のシグナルが中緯度海洋前線周辺で見られることが報告されており、温暖化時の極端気象の予測を考える上でも、これまであまり関心が払われてこなかった中緯度大気現象に果たす海洋の役割についての知識を再構築する必要がある。このセッションでは、観測研究、データ解析、数値実験などの手法に基づいた中緯度海洋前線近傍で起こる様々な大気並びに海洋現象の話題を提供して頂き、中緯度における大気と海洋との関係について季節性や地域性の観点も踏まえ理解を深めたい。台風の温低化や海陸間などの話題提供も歓迎する。予備的な研究報告や観測速報、大学院生などの若手の発表も歓迎する。

世話人：吉岡真由美（東北大学大学院理学研究科 大気海洋変動観測研究センター）、茂木耕作（独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域）、川合義美（独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域）、美山透（独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域）、飯塚聡（独立行政法人 防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット）、万田敦昌（長崎大学 大学院水産・環境科学総合研究科）、川村隆一（九州大学 大学院理学研究院 地球惑星科学部門）、中村尚（東京大学 先端科学技術研究センター 気候変動科学分野）

気象情報の活用および気象予報士にできること

日時：大会第3日（11月21日）09:15～10:15

場所：C会場

趣旨：気象技術の進展により、気象情報が質・量ともに急速に充実してきました。情報はきめ細くなり、確率表現や映像等によりわかりやすく使いやすくなりました。しかし、突風・豪雨等の極端現象には予測困難なものもあるので、気象情報をユーザー自らが取得し、内容を理解して判断することも求められます。気象予報士は、気象予報

を作成するだけでなく、報道等を通じて気象情報を解説していることはよく知られています。また、民間気象情報会社により、天候に左右される企業へのサポート等が行われています。さらに、防災関係者や一般住民を対象とする講演会で気象予報士が講師をつとめる等、知識の普及・啓発に貢献しています。最新の技術を防災や産業の発展等に活用するために、橋渡し役として気象予報士は何をすればよいのでしょうか。昨年に続き、気象情報の作成・伝達、関連知識の普及等に関わる研究成果の発表とともに、気象予報士にできることを考えます。

世話人：岩田修（日本気象予報士会）、杉山公利（日本気象予報士会）、金村直俊（日本気象予報士会）、弘中秀治（日本気象予報士会）、難波良彰（日本気象予報士会）、白石晶二（日本気象予報士会）、奥語基宏（日本気象予報士会）、岡留健二（日本気象予報士会）

雲エアロゾル放射観測衛星「EarthCARE」の打ち上げに向けて

日時：大会第3日（11月21日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：日欧協力のもと雲レーダやライダーと光学センサーで全球の雲・エアロゾル・放射を観測する衛星計画「EarthCARE (Earth Clouds, Aerosols and Radiation Explorer)」は開発試験フェーズを終えて、いよいよフライトモデル製作に着手しようとしている。ドップラ観測機能を持つ雲レーダやミー散乱とレイリー散乱を分離できる高スペクトル分解ライダーなど新規のセンサーが開発され、そのデータ処理アルゴリズム開発が日欧の研究者で進められている。また、地上から雲やエアロゾルを観測して衛星の観測精度を確かめる地上検証計画も本格的な検討を開始したところである。本セッションでは、EarthCARE衛星搭載センサーの開発状況を報告するとともに、アルゴリズム開発と地上検証の状況と課題、そして利用研究事例などを紹介して、より多くの気象研究者に本衛星計画に対する興味を喚起したい。

世話人：大野裕一（情報通信研究機構）、沖理子（宇宙航空研究開発機構）、岡本創（九州大学）、中島孝（東海大学）、藤吉康志（北海道大学）

近年における日本の冬の気象：気候変動、遠隔応答の枠組みからの理解

日時：大会第3日（11月21日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：近年の夏の北極海の水氷面積の急速な減少やグリーンランド氷床表面の融解は、北極温暖化増幅として地球温暖化に同期した現象としてとらえることが出来る。一方、最近における日本の冬の特徴をみると、2005/06年におよそ20年振りと言われた寒冬・豪雪を記録した後も昨冬（2012/13年）を含めて繰り返し低温と大雪が観測されている。昨冬は後半(3月)に記録的な高温偏差となったが、このような冬季における振幅の増加も特徴的である。これまで、日本の冬の寒暖に対しては、熱帯エルニーニョ、北極振動との関連性が着目されてきたが、それ以外の日本においては中緯度全体に対する大気の遠隔応答を総合的に考察する必要がある。このセッションでは、最近の日本の冬

の特徴付けを行い、さらに北極域変動、熱帯域変動、10年規模変動などとの関連を議論するために、最近の日本の冬に関わる研究発表を広く募集する。

世話人：猪上淳（国立極地研究所）、浮田甚郎（新潟大学）、高谷康太郎（JAMSTEC）、野沢徹（岡山大学）、平沢尚彦（国立極地研究所）、堀正岳（JAMSTEC）、本田明治（新潟大学）

大気・陸面間の水・エネルギー・炭素フラックスに関する最新研究 2013

日時：大会第3日（11月21日）13:30～17:00

場所：C会場

趣旨：陸域の水、熱、炭素循環（以下、WEC 循環）は、大気循環をコントロールする重要な素過程である。WEC 循環の研究では、気象・気候学や生態学、林学など、様々な視

点から数多くの研究成果が挙げられてきた。しかし、時空間スケールや対象領域、手法（地上観測、リモートセンシング、モデル）が多岐に渡る分野横断型の研究であるため、WEC 循環に直接関わる異分野の研究者が一同に会する機会は少なく、情報共有が必ずしも十分に進んでいないのが現状であった。そこで、本分科会では、WEC 循環に関する情報共有、及び包括的な理解による新たな課題の創出を目的として、手法や時空間スケール、対象地域ができるだけ異なる若手研究者を中心にご講演頂く予定である。極域から熱帯まで、それぞれの研究フィールドでの最新の科学的知見を基に、大気・陸面間の WEC 循環の研究動向や今後の方向性について情報交換を行いたい。

世話人：吉田龍平（東北大院理）、佐々井崇博（名大院環境）

研究会のお知らせ

大会期間中とその前後に以下の研究会が予定されています。興味のある方はご自由にご参加下さい。

第40回メソ気象研究会

日時：2013年11月18日（月）（大会前日）13:30～17:00

場所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール会議室
（〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内40）

テーマ：「静かなるメソ気象 ヤマセ・霧・層雲」

コンビーナー：吉岡 真由美（東北大学大学院理学研究科 大気海洋変動観測研究センター）

内容：激しい降水や強風を伴うメソスケール気象現象は、人々の関心を引き、注目されがちです。しかし、メソ気象現象は一時的で激しいものだけではなく、霧や薄い雲、それらを伴う現象もあります。これまでメソ気象研究会では、集中豪雨や台風に代表されるような激しい降水を伴う現象をテーマとして多く取り上げてきましたが、今回は霧や層雲を中心とした比較的静かで持続し、おだやかな雨を伴う現象を取り上げます。気象現象としての霧や層雲の動態、その雲の中に存在する水や氷の粒子、その雲物理に注目します。薄い雲やその持続、もたらされる降水により、気候に与える影響についての話題、これらの現象をとらえるさまざまな観測・解析手法、その現状についても話題提供して頂きます。多くの方々の参加と活発な議論をお願いいたします。

プログラム：

- 13:30～13:35 趣旨説明
- 13:35～14:05 監視カメラでとらえた海霧・山霧の動態
藤吉康志（北海道大学低温科学研究所）
- 14:05～14:35 陸上のヤマセの観測
児玉安正（弘前大学大学院理工学研究科）
- 14:35～15:05 航空機観測による下層雲のエアロゾル・雲相互作用研究
小池真（東京大学大学院理学系研究科）
- 休憩
- 15:20～15:50 降水の統計と長期変動ー弱い降水を中心としてー
藤部文昭（気象研究所）

15:50～16:20 下層雲の形成・維持・消滅過程における放射の役割

早坂忠裕（東北大学大学院理学研究科 大気海洋変動観測研究センター）

16:20～17:00 総合討論

世話人：坪木和久（名大地球水循環）、加藤輝之（気象庁気象研）、小倉義光（東大大気海洋研）

連絡先：吉岡 真由美（東北大学大学院理学研究科 大気海洋変動観測研究センター）

E-mail: yoshioka@caos-a.geophys.tohoku.ac.jp

2013年7・8月豪雨災害に関する研究会

日時：2013年11月18日（月）（秋季大会前日）17:30～19:30
（メソ気象研究会終了後）

場所：東北大学百周年記念会館 川内萩ホール会議室
（〒980-8576 仙台市青葉区川内40）

共催：気象災害委員会、メソ気象研究会

プログラム：

- 17:30～17:35 趣旨説明（気象災害委員会）
- 17:35～18:00 「2013年8月9日の秋田・岩手豪雨の環境場と気象台の対応」
廣川康隆・吉田薫（仙台管区気象台予報課）
- 18:00～18:25 「2013年7月28日山口・島根県豪雨での現地の被害状況の概要」
田中健路（広島工業大学）
- 18:25～18:50 「山口・島根豪雨と2013年7～8月に大雨をもたらした大気状態の特徴」
加藤輝之（気象研究所）
- 18:50～19:30 総合討論
コメント(18:50～19:05)
- ① 「2013年山口島根大雨・秋田岩手大雨と近年の豪雨事例の比較」：石原正仁（京都大学極端気象適応社会教育ユニット）
- ② ひまわり高頻度観測について：気象衛星センター

関係者

自由討論(19:05～19:30)

連絡先：藤谷徳之助（国立環境研究所地球環境研究センター
内地球温暖化観測推進事務局）
E-mail: fujitani.tokunosuke@nies.go.jp

統合的陸域圏研究連絡会

日時：2013年11月19日（火）（大会第1日）セッション終了後2時間程度

場所：仙台国際センター（小会議室6，3階）

テーマ：「大気－陸域相互作用に関連したモデル相互比較実験の動向」

内容：温室効果ガス排出による将来の地球環境変動の予測において、大気－陸域相互作用を含む陸域モデルの不確実性の低減が重要な課題とされています。近年は、多くの種類の陸域モデルが存在しており、これらモデルの相互比較実験が国内外で盛んに行われています。モデル相互比較実験によって、モデル予測の不確実性の定量化、不確実性の要因となるプロセスの特定、今後必要な研究項目の抽出などが期待され、この結果は広い研究コミュニティに影響を与えることとなります。モデル比較実験から有用な知見を得るためには、各モデルの複雑さ、モデル出力データの膨大さなどによる解析の難しさを乗り越える必要があります。各研究者は、それら困難を乗り越えた上で、重要な結論の導出を目指しています。今回は、大気－陸域相互作用に関連したモデル比較実験に関して、大陸スケールから全球スケールの実験に関する4件の講演を実施します。モデル比較実験を通して得た大気－陸域相互作用に関する知見、世界中の様々な最先端モデルの現状、今後の研究の方向性などに関して講演を頂き、参加者間での活発な議論を通して、知見の共有や今後の研究の方向付けなどができればと考えております。

大気－陸域相互作用が気候システムに与える影響に関して理解を深め、活発な議論を通して、我が国の大気－陸域相互作用を扱う研究者の交流促進と分野全体の研究の発展を目指すことが本連絡会の趣旨です。大気－陸域相互作用の不確実性の低減の必要性が指摘される中、どのような方向性を目指すべきか忌憚りの無い議論を行いたいと考えておりますので、興味をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

仮プログラム：

- 1) 河宮未知生（JAMSTEC）
「CMIP5概要：特に陸域に関連する部分に注目して」
- 2) 眞崎良光（環境研）
「気候変動影響評価モデルの相互比較：ISI-MIPの紹介」
- 3) 斉藤和之（JAMSTEC）
「北極圏の陸域モデル相互比較：GTMPの紹介」
- 4) 市井和仁（福島大）
「アジアにおける陸域生態系モデル比較実験 - AsiaMIP」

総合討論

世話人：市井和仁（福島大）、大石龍太（極地研、東大）、大谷義一（森林総研）、近藤雅征（福島大）、佐藤 永（名大）、立入 郁（JAMSTEC）、奈原顕郎（筑波大）

問い合わせ先：伊藤昭彦（環境研）

E-mail: itoh@nies.go.jp

極域・寒冷域研究連絡会

日時：2013年11月19日（火）（大会第1日）セッション終了後（17:15～2時間程度）

場所：仙台国際センター（小会議室1，1階）

テーマ：「北極海の雲・降水の観測－新型レーダーによる展望」

趣旨：雲は放射を介して気象や気候に影響していますが、雲の性質によってその影響の仕方が変わってきます。雲の様々な特徴は水循環を表す指標として大いに価値があり、レーダーはそれらを観測するための欠かせない測器です。北極域においては極温暖化増幅に関連して、現場観測による雲・降水システムの役割の解明が必要であり、日本独自の雲／降水レーダー観測が世界的に注目され始めてきています。例えば、極地研究所が拠点を構えてきたノルウェーのスピッツベルゲン島にあるニーオルスンでは、GRENE 事業の基盤整備の一環として今年（2013年秋）から新たに雲レーダーが設置されます。ニーオルスンは国際的な観測拠点にもなっているため、他国の観測機器との同期観測や長期間の雲のモニタリングが可能です。また、JAMSTEC が運用している海洋地球研究船「みらい」搭載の降水ドップラーレーダーは、来年度に新システムへ更新される予定です。新レーダーが持つ高次機能によって、海氷減少域での雲・降水システムの変化を世界に先駆けて捉え、当該分野を国際的にリードすることが期待されます。

今回はこの2つのレーダーを主導している方々から、これまでの観測や新しいレーダーの仕様・実力についてお話していただきます。今後どちらの観測へも参加が可能ですから、この連絡会を機に多くの方々が北極の観測や研究に関わっていただけるよう期待しています。

話題：

ニーオルスンにおける雲レーダー新設

- 1 「ニーオルスンにおけるこれまでの雲観測」
塩原匡貴（極地研究所）
- 2 「ミリ波雲レーダー FALCON-A の性能と観測例」
鷹野敏明（千葉大学）
- 3 「雲粒子ゾンデによる検証」
小林 拓（山梨大学）

観測船「みらい」のドップラーレーダーの更新

- 4 「北極海での降水システムの観測の重要性」
猪上 淳（極地研究所／JAMSTEC）
- 5 「新システムの仕様」
勝俣昌己（JAMSTEC）

連絡先：平沢尚彦（極地研究所，hira.n@nipr.ac.jp）

学会員の皆様へ ー電子予稿集についてー

講演企画委員会 三上正男

昨年の2012年秋季大会では、学会として初めての試みとして、電子予稿集の配布を試行いたしました。その結果、多くの学会員の皆様にPDF化された予稿集のダウンロードを利用して頂く事が出来ました。また、電子版の配布と同時に実施したアンケートにも、多くの会員に協力頂く事が出来ました。改めて、学会員の皆様にお礼申し上げます。

アンケートでは、従来の紙媒体よりもPDF電子媒体を希望される会員が圧倒的に多い事が分かりました。配布価格を現在の冊子版と同じにした場合、413回答中83%の方が電子予稿集を選択し、冊子版と電子版の同時購入を合わせると92%の会員が電子予稿集を希望されているという結果となっております。

この結果を踏まえ、講演企画委員会では、なるべく近い時

期に電子予稿集のサービスを開始すべきだという結論を得ました。しかし、今後どのような配布形態にすべきか検討した結果、電子認証システムを踏まえた学会の電子情報サービスの一環としてシステムを組む必要がある、との判断になりました。

そのためには、電子情報委員会など関係する委員会とも協同し、学会員への電子情報サービスのシステム構築を図る必要があります。学会員の皆様には、今しばらくお待ち頂く事になり、誠に申し訳なく思いますが、講演企画委員会としても、学会員へのサービス向上を目指した学会の体制強化について、引き続き取り組みを進めてまいりますので、皆様のご理解とご支援をどうかよろしくお願いいたします。

2014 年度春季大会の予告

2014 年度春季大会は、2014 年 5 月 21 日（水）～24 日（土）に横浜市内で開催される予定です。大会告示は「天気」12 月号に掲載予定です。なお、春季大会の講演申し込み締め切りは2014 年 2 月頃となる予定です。

大会第1日 [11月19日(火)] 9:45~12:30

口頭発表

A 会場

気候システム I

座長 : 釜堀弘隆 (気象研)

- A101 小柴 厚 (筑波大学院生命環境) JRA-55によるハドレー循環の強度の推移
- A102 釜堀 弘隆 (気象研) JRA-55AMIPに表現される熱帯低気圧
- A103 山浦 剛 (理研計算科学) 梅雨前線帯における降水偏差の持続性
- A104 松本 健吾 (岡山大教育) 東日本における梅雨～盛夏期の大雨日に関する気象学的解析(西日本との梅雨との比較)(第1報)
- A105 松村 伸治 (北大院地球環境) ユーラシア積雪変動に対する夏季大気循環の応答
- A106 堀 雅裕 (JAXA/EORC) 衛星データ解析に基づいた近年の北極域積雪・曇天率分布の変動傾向
- A107 渡邊 武志 (東海大TRIC) 夏季南アジアモンスーンオンセットとPDOとの関係
- A108 尾瀬 智昭 (気象研) 赤道太平洋海面水温変動の中高緯度大気への影響頻度
- A109 濱木 達也 (岡山大教育) 冬から春にかけてのシベリアの寒気域の後退と日々のシベリア高気圧に関する季節経過 (序報)

座長 : 川瀬宏明 (JAMSTEC/RIGC)

- A110 宇野 史睦 (JAMSTEC/RIGC) 広域における積雪の標高依存性の地域差とその要因
- A111 今田 由紀子 (東大大気海洋研) 平成24年7月九州北部豪雨に対する地球温暖化の寄与
- A112 栗原 和夫 (気象研) 地域気候モデルによる甲府盆地の降水特性の再現
- A113 有馬 雄祐 (東大院工) GCMを使用した領域気象モデルによる近未来標準気象データ作成に関する研究
- A114 川瀬 宏明 (JAMSTEC/RIGC) 日本海海面水温の変化が日本海側の積雪変化予測に及ぼす影響
- A115 初鹿 宏壮 (富山県環科セ) 富山におけるWBGT指数の将来予測
- A116 島田 照久 (東北大院理) ダウンスケーリングを用いたヤマセの北日本への影響の将来変化2
- A117 石岡 翔 (岡山大院自然) DCPAMを用いた惑星熱収支の自転角速度依存性に関する研究

大会第1日 [11月19日(火)] 9:45~12:30

口頭発表

B 会場

竜巻・雷

座長 : 横田 祥 (気象研)

- B101 村松 貴有 (網走地方気象台) 水平5km地域気候モデルに基づく日本域竜巻発生環境場の将来予測
- B102 栃本 英伍 (東大大気海洋研) 竜巻大発生を伴う温帯低気圧構造と環境場
- B103 末木 健太 (東大大気海洋研) 竜巻を発生させた台風の構造的特徴
- B104 益子 渉 (気象研) 超高解像度数値シミュレーションによる竜巻の詳細構造の解析
- B105 横田 祥 (気象研) 2012年5月6日につくば市に被害をもたらした竜巻の発生環境場のLETKFネストシステムを用いた同化実験
- B106 本田 匠 (九大院理) 先行するOutflow境界との相互作用による竜巻likeな渦の強化過程
- B107 楠 研一 (気象研) 2012年12月11日庄内平野に突風被害をもたらした気象じょう乱
- B108 新井 健一郎 (アルファ電子/気象研) 2011年12月22日庄内で観測された突風における地上風の特徴
- B109 猪上 華子 (気象研) 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱一渦および渦内部の地上風についてIIー
- B110 加藤 亮平 (気象研) 多点型地上観測システムでとらえた下層渦の構造

座長 : 新井健一郎 (気象研)

- B111 藤田 彬 (新潟大院自然) 新潟市高密度地上気象観測網で捉えた竜巻発生時の風環境場
- B112 本田 明治 (新潟大理) 気象レーダー及び高密度地上気象観測網が捉えた突風現象の解析ー2012年8月6日新潟市で発生したガストフロントの事例ー
- B113 小林 文明 (防大地球) ガストフロントに伴うアーククラウドの観測
- B114 田井 わか (名大地球水循環) 日本海寒帯気団収束帯に発生したmeso- β -scale渦に伴う強風の解析
- B115 西橋 政秀 (気象研) 冬季雷雲における雷放電路と降水コアおよび渦との関係
- B116 道本 光一郎 (ウェザー・サービス (株)) 航空機の被雷防止法について
- B117 工藤 剛史 (北大院理) 関東地方におけるVLF帯雷電磁波観測網の構築と落雷規模の推定
- B118 足立 透 (早大高等研) JEM-GLIMSによる宇宙からの雷・超高層放電の多波長観測
- B119 高橋 劭 (九大) 雷の鳴る豪雨, 鳴らない豪雨

大会第1日 [11月19日(火)] 9:45~12:30

口頭発表

C 会場

物質循環 I

座長 : 田中泰宙 (気象研)

- C101 菅原 敏 (宮城教育大) 大気重力分離シミュレーション
- C102 秋吉 英治 (環境研) 2010年1月の突然昇温時の下部成層圏微量成分分布とオゾン収支
- C103 門脇 正尚 (環境研) 南極域の波動活動とオゾン全量およびオゾン破壊過程との関係
- C104 板橋 秀一 (電中研) 東アジア域光化学オゾンの発生源寄与評価手法の比較
- C105 鎌田 茜 (気象庁環境気象) 高濃度オキシダントが大雨領域で観測された事例について
- C106 酒井 哲 (気象研) つくば上空成層圏エアロゾルの長期変動ー気象研ライダー観測と全球エアロゾルモデルの比較ー
- C107 出牛 真 (気象研) オンライン領域化学輸送モデル (NHM-Chem) の開発
- C108 関谷 高志 (名大院環境) 高解像度化学気候モデルにおける全球オゾンの年々変動と将来変化
- C109 辻 健太郎 (気象庁環境気象) 気象研究所化学気候モデル (MRI-CCM2) 利用のための精度検証
- C110 五藤 大輔 (環境研) 多角的観測とモデル相互比較を通じたアジア域における硫酸塩エアロゾル分布の不確実性評価
- C111 池上 雅明 (気象庁環境気象) 気象庁全球大気汚染気象予測モデルの更新による予測精度の向上について
- C112 澤田 淳也 (防衛大地球海洋) MTSAT-1R/Split-Windowでみたサリチェフ火山噴煙の水平拡散
- C113 田中 泰宙 (気象研) 大気汚染と火山噴火: 2013年7月の桜島噴火は本州の大気汚染に影響したか?

大会第1日 [11月19日(火)] 9:45~12:30

口頭発表

D 会場

大気力学

座長 : 伊賀啓太 (東大大気海洋研)

- D101 高橋 芳幸 (神戸大院理) 大気大循環モデルを用いた木星型惑星大気の数値実験
- D102 石渡 正樹 (北大理) 雲の存在を考慮した同期回転惑星大気の数値実験
- D103 杉本 憲彦 (慶大日吉物理) f平面浅水系における高低気圧の非対称的な重力波放射
- D104 高橋 克実 (東海大院) 半球規模傾圧不安定波動実験において発生するロスビー波～初期条件の制御について～
- D105 齋藤 泉 (京大院理) 長波極限の2次元ベータ平面乱流におけるエネルギースペクトルの非等方的な分布について
- D106 伊賀 啓太 (東大大気海洋研) 円筒容器内で回転する円盤上の軸対称流の境界層と角運動量輸送
- D107 嶋作 悠希 (東海大院) 閉ループ内熱対流数値実験において発生するアトラクターの多重性について
- D108 松嶋 俊樹 (京大院理) サリバン渦(竜巻の理想化モデル)の安定性について
- D109 工藤 淳 (気象庁数値予報/気象研) 中層雲底下で発生する乱気流の3次元シミュレーション

大気境界層

座長 : 菅原広史 (防大)

- D110 徐 健青 (JAMSTEC/RIGC) フィリピンの日射量推定について
- D111 松尾 諒 (京大院人間環境) 気象台の観測データを用いた気温と水蒸気量の関係の解析
- D112 吉野 勝美 (全日空) 成田空港における水平ロール対流の構造
- D113 児玉 安正 (弘大院・理工) 青森県六ヶ所村で実施している陸上のヤマセの詳細観測
- D114 菅原 広史 (防大) 相似則はどこまで成り立つか?
- D115 伊藤 純至 (東大大気海洋研) Terra Incognitaスケールにおける大気境界層モデルの試作
- D116 中島 慶悟 (東大院) 空間発達する都市境界層における運動量の輸送効率に関するLarge-Eddy Simulation
- D117 名越 利幸 (岩大教育) 「肱川あらし」の霧の数値シミュレーションー名大雲解像モデルDVD-CReSSを用いた試みー
- D118 阿佐見 俊介 (京大院農) 近畿北部の原発事故を想定した放射性物質の拡散予測

大会第1日〔 11月19日(火) 〕 13:30~17:00 スペシャル・セッション

A 会場

全球降水観測計画「GPM」主衛星打上げと新たな降水観測

座長： 可知美佐子 (JAXA/EORC)

- A151 沖 理子 (JAXA/EORC) 全球降水観測計画(GPM)衛星の概要
- A152 高菰 縁 (東大大気海洋研) 全球降水観測計画 (GPM)に期待されるサイエンス
- A153 井口 俊夫 (NICT) GPM主衛星搭載の二周波降水レーダ (DPR) による降水分布推定
- A154 久保田 拓志 (JAXA/EORC) 全球雲解像モデルNICAMを用いたGPM/DPR観測の雲水減衰補正手法の開発
- A155 高橋 暢宏 (NICT) CloudSatとTRMM/PRを用いた気候値的な雨滴粒径分布パラメータの推定 (その1) 解析手法
- A156 広瀬 正史 (名城大) 衛星搭載降雨レーダデータの気候学的利用について
- A157 濱田 篤 (東大大気海洋研) 極端な降雨と極端な対流を伴う降水システムに関する統計解析
- A158 岡本 幸三 (気象研) 衛星搭載レーダの同化に向けて (その1) 気象庁非静力学モデル(JMA-NHM)とTRMM/PRとの比較

座長： 広瀬正史 (名城大学)

- A159 中村 健治 (獨協大学) 我が国のGPM地上検証計画
- A160 西川 将典 (名大地球水循環) 2台のKa帯レーダによる降雪粒子の対向観測実験
- A161 民田 晴也 (名大地球水循環) GPM DPR地上検証 富士山観測 -X/Ka帯2周波レーダ観測-
- A162 可知 美佐子 (JAXA/EORC) GPMに向けた全球降雨マップ (GSMaP) 開発と今後の計画
- A163 牛尾 知雄 (阪大院工) マイクロ波および赤外放射計データを併用した高分解能全球降水マップ (GSMaP_MVK)のアルゴリズム
- A164 山本 宗尚 (京大院理) GSMaP マイクロ波放射計アルゴリズムに対する地形性降雨推定手法の全領域導入
- A165 青梨 和正 (気象研) 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーバルアルゴリズム開発 (その1)
- A166 上米良 秀行 (土研) ジャワ島中東部ソロ川流域における衛星雨量プロダクトGSMaPの性能調査

大会第1日〔 11月19日(火) 〕 13:30～17:00 スペシャル・セッション

B 会場

航空機観測による大気科学・気候システム研究

趣旨説明

座長：青木周司（東北大院理）

- B151 新野 宏（東大大気海洋研） 航空機観測による大気科学・気候システム研究の推進－日本学術会議への提案－
- B152 近藤 豊（東大理） アメリカの航空機観測の現状と将来計画
- B153 町田 敏暢（環境研） 民間航空機を活用した大気観測の特徴と専用機観測への応用と協力
- B154 石戸谷 重之（産総研） 航空機を用いた大気主成分濃度・同位体比の高精度観測とその今後の展望
- B155 金谷 有剛（JAMSTEC/RIGC） 反応性気体の大気化学解明：航空機観測への期待
- B156 張 代洲（熊本県立大・環境共生） Soot Particles over a Coal-Burning Region in China: Results of Single Particle Analysis from Three Winter Flight Missions

座長：佐藤正樹（東大大気海洋研）

- B157 竹川 暢之（東大先端研） 航空機を用いたエアロゾル数濃度の観測
- B158 小池 真（東大院理） 航空機観測によるエアロゾル－雲相互作用研究
- B159 村上 正隆（気象研） 気象研究所における航空機観測－エアロゾルの間接効果からメソ対流系まで－
- B160 茂木 耕作（JAMSTEC） チャーター機によるドロップゾンデ観測だけで何ができたか？専用機によるマルチパラメータ観測に何を望むか？
- B161 大野 裕一（NICT） 航空機による衛星搭載気象レーダの検証
- B162 石井 昌憲（NICT） 航空機搭載コヒーレントライダーの開発

総合討論 地球観測専用航空機の導入に向けて

大会第1日〔 11月19日(火) 〕 13:30~17:00 スペシャル・セッション

C 会場

中緯度海洋前線近傍の大気海洋現象

趣旨説明

座長：飯塚 聡（防災科研）

- C151 山内 晃（長大院水産環境） CloudSat衛星プロダクトを用いた黒潮上の雲特性の解析
- C152 西川 はつみ（三重大院生物資源） 3隻同時観測で捉えられた黒潮統流域の霧 大気-海洋相互作用
- C153 佐藤 尚毅（東京学芸大） 梅雨期の黒潮域における海上風の強化
- C154 久野木 梓織（弘前大院理工） 黒潮が鹿児島沖に発生した梅雨前線帯に及ぼす影響
- C155 浅野 匠彦（東大院理） 海面水温が梅雨末期の集中豪雨に及ぼす影響 第二報—九州西部の集中豪雨の季節性と平成24年九州北部豪雨の事例解析—
- C156 万田 敦昌（長大院水産環境） 海面水温が梅雨末期の集中豪雨に及ぼす影響 第三報 季節進行実験と温暖化予測実験の再検討
- C157 武樋 露子（東大先端研） 初夏の東シナ海南部の海洋前線帯上を通過した台風の構造変化
- C158 郭 新宇（愛媛大沿岸セン） 潮汐フロント周辺でのGPSラジオゾンデ観測：盛夏と初秋の比較

座長：万田敦昌（長崎大学）

- C159 磯辺 篤彦（愛媛大沿岸センター） 春季日本海のプランクトンブルームに対するSSTと大気場の応答
- C160 横山 裕太郎（九大院総理工） 2008年1月下旬の二つ玉低気圧に関する感度実験
- C161 西田 智哉（東大院新領域） 冬季北西モンスーンによる海面乱流活発化に関する解析
- C162 村崎 万代（気象研） 数値実験による日本域の降水における黒潮経路変動の影響
- C163 中村 元隆（JAMSTEC） 北太平洋西部の海洋フロントが日本付近の夏季大気循環に及ぼす影響について
- C164 小川 史明（東大先端研） 南半球対流圏の気候トレンドに対する中緯度海洋前線帯の潜在的重要性
- C165 宮坂 貴文（東大先端研） 大気海洋結合モデルにおける北太平洋十年規模変動の長期変動
- C166 川合 義美（JAMSTEC/RIGC） 亜寒帯水温前線域における高層気象集中観測（速報）
- C167 見延 庄士郎（北大院理） メキシコ湾流および黒潮に対する降水応答の日周期変動

総括

大会第1日 [11月19日(火)] 13:30~17:00

口頭発表

D 会場

熱帯大気

座長：横井 覚 (JAMSTEC)

- D151 城岡 竜一 (JAMSTEC) 西部熱帯太平洋域で実施した大気海洋集中観測PALAU2013
 D152 篠田 太郎 (名大地球水循環) PALAU2013において観測された降水システムの構造：初期解析結果
 D153 耿 驃 (JAMSTEC) PALAU2013で観測されたモンスーントラフの構造
 D154 林 歩夢 (北大院環境) 西部北太平洋における夏の急激な対流活発化
 D155 初塚 大輔 (名大院環境) パングラデシュの降水量における季節内変動と低気圧システムについて
 D156 福富 慶樹 (JAMSTEC) インドシナ半島東岸域の極端豪雨の最近の増加傾向と熱帯擾乱活動
 D157 原 政之 (JAMSTEC/RIGC) 熱帯域における降水の日変化と地表面の関係
 D158 那須野 智江 (RIGC, JAMSTEC) MJOのオンセット過程における熱帯外起源の擾乱の役割
 CINDY2011/DYNAMO観測期間の事例解析 第2報
 D159 安永 数明 (富山大院理工) MJO内部の総観規模スケールの渦擾乱による水蒸気輸送
 D160 横井 覚 (JAMSTEC/RIGC) JRA-55再解析を用いた熱帯季節内変動の水蒸気収支解析
 D161 高橋 千陽 (JAMSTEC) 冬季東アジア域における降水量変動に対するMJOの影響CMIP5マルチ気候モデルによる将来変化予測
 D162 山上 晃央 (筑波大院生命環境) スペクトル線形傾圧モデルでの線形不安定解析によるMJOモードの探索

台風

座長：伊藤耕介 (JAMSTEC)

- D163 小山 亮 (気象研) 衛星マイクロ波データを用いて推定された2013年台風第7号の強度
 D164 坪木 和久 (名大地球水循環) Re-estimation of the maximum intensity of the most intense typhoons using the Advanced Dvorak Technique
 D165 豊嶋 紘一 (名大院環境) 熱帯低気圧の降水非軸対称性に関する衛星データを用いた研究：鉛直構造の特徴
 D166 吉岡 七緒 (三重大学大学院生物資源) 高頻度ラジオゾンデ観測によって捉えられた台風1105中心近傍の微細鉛直構造
 D167 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 台風Bart(T9918)の内側眼の偏心運動と外側眼の多角形性
 D168 金田 幸恵 (名古屋大学地球水循環) 非常に強い熱帯低気圧のinner-core 構造に対する物理過程の影響～水平解像度2kmの2つの非静力学モデルを用いたダウンスケーリング実験より
 D169 武田 一孝 (東大大気海洋研) 環境場の成層安定度が台風の発生・発達に与える影響に関する数値的実験
 D170 伊藤 耕介 (JAMSTEC/RIGC) 高解像度大気海洋結合モデルを用いた台風強度予測
 D171 辻 宏樹 (九大院理) 台風likeな渦の大きさの変化メカニズム～Rossbyの変形半径を用いた考察～
 D172 南出 将志 (東大院工) 台風Washiに伴う降水現象に対する地形の影響
 D173 竹見 哲也 (京大防災研) 台風の経路の違いによる風水害影響に関する数値実験
 D174 北畠 尚子 (気象研) 台風1212号の発生と構造の特徴、及びそれに対する環境場の影響
 D175 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 熱帯・亜熱帯・温帯の環境場における低気圧の統計解析 その2

大会第2日 [11月20日(水)] 9:15~12:00

口頭発表

A 会場

気候システムⅡ

座長 : 早崎将光 (筑波大院生命環境)

- A201 野津 雅人 (極地研・JAMSTEC/RIGC) 外部フォーシングの 20 世紀気候変動再現実験への影響
 A202 野原 大輔 (電中研) 気候変化と炭素循環に対するCO₂排出経路依存性
 A203 望月 崇 (JAMSTEC) 近年の緩やかな地球温暖化傾向に対する十年スケール気候変動予測
 A204 吉森 正和 (東大大気海洋研) MIROC GCMにおける北極域温暖化増幅プロセスの季節性について
 A205 廣田 渚郎 (極地研) CMIP5気候モデルにおける北ユーラシア夏季降水バイアスの原因
 A206 原田 昌 (気象庁気候情報) 冬季東アジア域における定常波の将来変化~CMIP5モデルによる解析~
 A207 早崎 将光 (筑波大院生命環境) CMIP5による東アジア冬季モンスーン活動の再現性とその将来変化

座長 : 青柳曉典 (気象研)

- A208 楠 昌司 (気象研) 60km格子全球大気モデルによる降水強度の将来変
 A209 渡邊 茂 (筑波大院生命環境) 温暖化時の南アジア域冬季降水量変動要因
 A210 仲江川 敏之 (気象研) 全球大気モデルを用いた中米地域の年最大5日積算降水量の将来予測
 A211 鬼頭 昭雄 (筑波大生命環境) 温暖化時のENSOに対する中高緯度大気の応答: 理想化実験
 A212 小玉 知央 (JAMSTEC/RIGC) NICAM長期気候実験における雲フィードバックの定量的推定
 A213 川合 秀明 (気象研) モデルにおける中緯度海洋下層雲の鉛直構造の検証
 A214 熊井 暖陽 (筑波大院生命環境) 積雲対流パラメタリゼーションの違いによる気候再現の差異
 A215 大泉 三津夫 (気大) i-SiB植生キャノピーサブモデルのNHRCMへのインパクト
 A216 青柳 曉典 (気象研) NHRCM4kmへの都市キャノピースキーム導入実験ー現在気候(2001年~2006年)再現実験の検証ー
 A217 栗林 正俊 (岐阜大) 地域気象モデルWRFの異なる陸面過程を用いた中部山岳域における積雪水量の評価
 A218 阿部 彩子 (東大大気海洋研) 10万年周期の氷期間氷期サイクルと氷床ー気候系の多重性

大会第2日 [11月20日(水)] 9:15~12:00

口頭発表

B 会場

降水システム I

座長 : 真木雅之 (鹿大)

- B201 有賀 涼 (東大気海洋研) 日本海から接近する温帯低気圧に及ぼす中部山岳の効果 - 1990年12月11日の低気圧の事例解析 -
- B202 渡邊 俊一 (東大気海洋研) 2013年1月14日の南岸低気圧の発達要因について
- B203 石原 正仁 (京大 極端気象適応社会教育ユニット) 大雨災害をもたらすメソ対流システムの環境場と組織化の統計的考察
- B204 二宮 洸三 (無所属) 中部日本南岸の風下シェアーゾーンにおける弱い寒気内メソ低気圧の発生
- B205 二宮 洸三 (無所属) 寒気内メソ低気圧(PMC)の発達に及ぼす総観規模環境場
- B206 真木 雅之 (鹿大) 高時空間分解能の局地的大雨データベースの構築
- B207 岡田 靖子 (京大防災研) 革新プロ温暖化実験データによる梅雨期の降水について
- B208 牛山 朋来 (ICHARM, PWRI) WRF-LETKFを用いた領域アンサンブル降水予報における側面境界摂動の影響
- B209 清野 直子 (気象研) 首都圏の夏季降水に対する都市の効果 (2) - NHM実験からみた日降水量へのインパクト -

座長 : 牛山朋来 (ICHARM, PWRI)

- B210 小司 禎教 (気象研) GPS/GNSS視線遅延を利用した2012年5月6日の可降水量変動解析
- B211 スリスチョワチ レニ (Kobe University; BPPT) Variability of Ciliwung River Water Level due to Diurnal-Cycle Rainfall
- B212 三木 友梨紗 (筑波大院生命環境) 地球温暖化に伴う熱帯域の降水特性変化
- B213 廣川 康隆 (仙台管区気象台) 上空高渦位に着目した強雨発生診断に関する統計調査
- B214 加藤 輝之 (気象研) 平成24年7月14日九州北部豪雨をもたらした下層水蒸気の蓄積過程と下層メソ渦との関係
- B215 加藤 輝之 (気象研) 平成25年7月28日山口・島根豪雨の発生要因
- B216 用具 敏郎 (気象庁福岡) 平成24年7月九州北部豪雨の事例解析 - 気象庁メソ客観解析 (以下, メソ解析) を基に, 12日の豪雨要因を探る -
- B217 河田 雅生 (九大院理) 下層風鉛直シアの変化に対するスコールラインの応答
- B218 清水 慎吾 (防災科研) 高時間分解能セクタースキャンによる積乱雲内の熱力学場リトリーバル手法の誤差特性
- B219 万田 敦昌 (長大院水産環境) 東シナ海黒潮上における風速強化 - 2012年5月の事例解析 -

大会第2日 [11月20日(水)] 9:15~12:00

口頭発表

C 会場

物質循環Ⅱ

座長 : 安成哲平 (GESTAR/USRA)

- C201 安成 哲平 (GESTAR/USRA) Simulated total dust depositions during precipitation by NASA GEOS-5: Case studies of dust events in Toyama during Jan. – Apr. in 2009
- C202 安成 哲平 (GESTAR/USRA) Radiative forcing on snow darkening effect over the land grids due to dust, black carbon, or both with organic carbon estimated with NASA GEOS-5 global simulations
- C203 谷田貝 亜紀代 (生存研) 福島原発事故に伴う放射性物質の初期拡散沈着過程把握のためのデータベース構築
- C204 渡邊 明 (福島大院理工) 大気中放射性物質濃度変動特徴
- C205 眞木 貴史 (気象研) 逆解析を用いた福島第一原子力発電所からの¹³⁷Cs放出量の推定
- C206 関山 剛 (気象研) 福島原発事故Cs¹³⁷移流拡散シミュレーションのモデル解像度依存性~15km、3km、500mの比較~
- C207 牧 輝弥 (金大理工) 高高度を風送されるバイオエアロゾルの細菌種組成解析
- C208 古本 翔吾 (金大理工) 雲核・氷晶核として働く黄砂バイオエアロゾルの探索
- C209 青木 一真 (富山大理) 船舶型スカイラジオメーターから得られる海洋上のエアロゾルの光学的特性
- C210 及川 栄治 (東大大気海洋研) クラスタリングを用いたAERONETデータのエアロゾルタイプ分類
- C211 鶴田 治雄 (東大大気海洋研) ピマイ(タイ)の大気エアロゾルの化学組成と光学特性(第5報) –乾期におけるAOTとPM_{2.5}粒子との関係–
- C212 入江 仁士 (千葉大CEReS) GOME-2, SCIAMACHY, OMIの対流圏NO₂カラム衛星データを複合利用したCMAQモデルの評価
- C213 菊地 信弘 (環境研) GOSAT SWIR偏光情報の利用による温室効果ガス濃度導出精度の改善検討
- C214 近藤 裕昭 (産総研) NCAR-LSM 炭素モジュールのAIST-MM への組み込み

大会第2日 [11月20日(水)] 9:15~12:00

口頭発表

D 会場

観測手法

座長 : 山本真之 (京大生存研)

- D201 上條 賢一 (東洋大) 水深別海水温変動における3次元LFD観測のための一方法—伊豆半島周辺を例として—
- D202 内山 常雄 (気象予報士会) 地上気象観測所の平均気温の平年値から計算した気温減率
- D203 内山 常雄 (気象予報士会) 近隣地域気象観測所の気温変動の相似性
- D204 山本 哲 (気象研) 東京気象台1875(明治8)年観測開始期のメタ情報
- D205 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダーのデータ利用技術の高度化
- D206 山本 真之 (京大生存研) 1.3GHz帯レンジイメージングウィンドプロファイラーによる大気境界層内鉛直流擾乱の詳細観測
- D207 川村 誠治 (NICT) 次世代ウィンドプロファイラの研究開発
- D208 梶原 佑介 (気象庁観測課／気象研) 次世代ウィンドプロファイラにより捉えられたKH波と晴天乱気流の対応
- D209 星野 俊介 (気象研) Thorpe Analysisを用いた乱流の検出可能性
- D210 中城 智之 (福井工大) 福井工業大学あわらキャンパスに設置されたウィンドプロファイラレーダーによる北陸沿岸域の局地循環観測の現状報告
- D211 ガン トン (京大生存研) Accuracy assessment of spectral parameters of range-imaging wind profiler radars
- D212 Luce Hubert (Toulon Univ.) Energetic of atmospheric turbulent layers evaluated from concurrent balloon and radar measurements
- D213 山田 芳則 (気象研) ドップラーライダーデータとドップラーレーダーデータとを組み合わせる晴天時における大気下層の風の場を高い空間解像度で解析する試み
- D214 岩井 宏徳 (NICT) 新しい観測システムでのドップラーライダーの風測定精度検証
- D215 鈴木 睦 (宇宙研) JEM/SMILES からのVSLS Bry の推定
- D216 内野 修 (環境研) DIALとGOSAT TIRで観測された下部対流圏オゾンカラム量の比較
- D217 塚本 修 (岡山大・理) 渦相関法による海面CO₂フラックス算定のためのオープンパスガス分析計の光学窓汚れの効果

大会第3日 [11月21日(木)] 9:15~11:30

口頭発表

A 会場

データ同化・気象予報

座長 : 黒田 徹 (JAMSTEC)

- A301 黒田 徹 (JAMSTEC) 2011年7月梅雨期のLETKF解析 2
- A302 国井 勝 (気象研) 平成24年7月九州北部豪雨のアンサンブルデータ同化実験
- A303 瀬古 弘 (気象研) 気象庁現業ドップラーレーダーで求めた屈折率の同化実験
- A304 折口 征二 (気象研) EnKF・EnVarの統合メソデータ同化実験システムの開発
- A305 青梨 和正 (気象研) 雲解像モデル用のNeighboring Ensembleに基づく変分法同化法 (その2)
- A306 森本 祐介 (名大地球水循環) 2010年7月15日に発生した岐阜県可児市・八百津町周辺の局地豪雨に関する3DVARを用いたGPS可降水量同化実験
- A307 川畑 拓矢 (気象研) 新しいNHM-4DVARを用いたデータ同化実験
- A308 大塚 道子 (気象研) 高頻度衛星観測による大気追跡風 (AMV) の同化実験
- A309 石橋 俊之 (気象研) 複数のOSSE手法による仮想観測システムの評価 (2) NR-OSSE
- A310 上清 直隆 (気象研) 全球データ同化システムにおけるAIRS データの観測誤差調整
- A311 芳村 圭 (AORI) 水蒸気同位体比を用いた観測システムシミュレーション実験
- A312 榎本 剛 (京大防災研) 球面螺旋を用いた準一様格子
- A313 武村 一史 (京大院理) 一般座標系を用いた数値モデルによる山岳波のシミュレーション
- A314 中村 一樹 (北大院地球環境) 表層雪崩の原因となる降雪系弱層形成時の気象の特徴
- A315 坪田 幸政 (桜美林大学) ニューヨーク市を対象とした局地天気予報の比較

大会第3日 [11月21日(木)] 9:15~11:30

口頭発表

B 会場

降水システムⅡ

座長：前島康光（気象研）

- B301 杉本 聡一郎（電中研） 冬季日本海沿岸にて取得したビデオゾンデデータの初期分析
 B302 清木 達也（JAMSTEC/RIGC） ゾンデ観測を用いた氷雲微物理モデリングの評価
 B303 小関 麻真（名大地球水循環） 梅雨期降水システムの融解層より上空の固体降水粒子分布特性
 B304 中井 専人（防災科研・雪氷） 降雪粒子観測に基づく可変Ze-R
 B305 石坂 雅昭（防災科研） 降雪モードと主要降雪粒子種の関係ーL, S modeの時の降雪粒子ー
 B306 中村 晃三（JAMSTEC/RIGC） 運動学的ドライバを使ったビン法雲微物理モデルの比較実験（その1：1次元の場合）
 B307 真木 太一（九大名誉教授） 液体炭酸散布による三宅島・御蔵島付近での人工降雨実験

座長：中井専人（防災科研・雪氷）

- B308 山下 克也（気象研） バイオエアロゾルのCCN・IN能
 B309 田尻 拓也（気象研） 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究（その4）
 B310 前島 康光（気象研） 小河内ダム集水域におけるシーディングシミュレーション
 B311 前島 康光（気象研） 雲核・氷晶核の多寡による水・エネルギー循環への影響
 B312 荒木 健太郎（気象研） 降雨時の地上マイクロ波放射計Off-Zenith観測値の検証
 B313 斉藤 貞夫（気象研） 関東地方で発生する非降水エコーとひまわり高頻度観測
 B314 吉田 翔（気象工学） フェイズドアレイレーダによって得られた対流性降水システムの特徴
 B315 佐藤 英一（気象研） Kuバンドレーダーを用いた降水コアの解析：第2報

大会第3日〔 11月21日(木) 〕 9:15～11:30

C 会場

スペシャル・セッション 気象情報の活用および気象予報士にできること 9:15～10:15

座長：岡留健二（日本気象予報士会）

- C301 田中 健路（広工大環境） 地域住民による防災気象情報の利活用の多様性と課題 ～広島県呉市の事例～
- C302 多々良 秀世（WFT/CAMJ） 地域住民への防災知識の普及について
- C303 山本 由佳（気象予報士会） 女性気象予報士による母親の科学リテラシーおよび防災意識向上への取り組み～母親向けお天気教室「さいえんすママカフェ」～
- C304 中山 秀晃（気象予報士会） WebGISを活用した降雪情報の開発（その2）
- C305 白石 晶二（ウェザー・サービス（株）） 気象予報のあり方に関する基礎的研究(その3)
- C306 道本 光一郎（ウェザー・サービス（株）） 気象情報の提供や天気予報の方法に関する一考察

総合討論

口頭発表 気象教育 10:20～11:30

座長：筆保弘徳（横浜国大）

- C307 筆保 弘徳（横浜国大） 回転水槽実験で観測される複雑な波動の定量化
- C308 草薙 浩（京都ウェザー） 気温図と四季気温マップ（II）－四季気温マップで世界の1600都市の四季を俯瞰する－
- C309 草薙 浩（京都ウェザー） 季節進行指標から見た東北地方の気候
- C310 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 春と秋の季節進行の非対称性からみる日本の季節サイクル（季節感を接点とする学際的授業開発の一視点）
- C311 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 季節進行の中で見た北陸における初冬の冬型時の降水と大気過程：1983/84年冬の事例解析を中心に（その3）
- C312 山田 悠海（岡山大教育） 気団の広域分布と侵入過程の季節サイクルの中でみた日本の気象・気候系に関する系統的学習プランの開発（序報）
- C313 関 隆則（気象予報士会） 温室効果気体の赤外線吸収実験

大会第3日 [11月21日(木)] 9:15~11:30

口頭発表

D 会場

中高緯度大気・相互作用

座長 : 森岡優志 (JAMSTEC/RIGC)

- D301 澁谷 亮輔 (東大院理) 冬季極域に見られる多重圏界面構造の解析
- D302 緒方 香都 (三重大院生物資源) 大気大循環モデルを用いた南極周辺の海氷が大気循環に与える影響
- D303 西中 規実子 (奈良女子大院人間文化) ニーオルスンにおける2011年春季集中観測期間の雲の特徴
- D304 鈴木 はるか (三重大院生物資源) 近年の北極振動の増幅と変調
- D305 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) 2012年8月に発生した顕著な北極低気圧の渦度収支解析
- D306 庄司 貴成 (東北大院理) 温位座標を用いた冬季東アジアにおける寒気流出過程の時間発展
- D307 藤田 啓 (三重大院生物資源) 夏季ブッソル海峡上で観測された特徴的な気温鉛直断面とその維持メカニズムについて
- D308 吉田 聡 (地球シミュレータ) AFESを用いた北西太平洋海面水温前線に対する大気応答実験
- D309 吉岡 真由美 (東北大院理) 雲解像モデルCReSSを用いた夏季北西太平洋域の低層雲の再現実験
- D310 森岡 優志 (JAMSTEC/RIGC) Role of tropical SST variability on the formation of the subtropical dipoles

大会第3日〔 11月21日(木) 〕 13:30～17:00 スペシャル・セッション

A 会場

雲エアロゾル放射観測衛星「EarthCARE」の打ち上げに向けて

座長：岡本 創（九州大学応用力学研究所）

- A351 中島 映至（東大大気海洋研） EarthCARE衛星ミッションにおける放射収支研究
- A352 関 義広（JAXA） EarthCARE衛星搭載用雲プロファイリングレーダ(CPR)の開発状況
- A353 沖 理子（JAXA/EORC） 雲エアロゾル放射観測衛星「EarthCARE」のアルゴリズム開発・検証・プロダクトについて
- A354 大野 裕一（NICT） アースケア衛星搭載雲レーダアルゴリズムの開発
- A355 岡本 創（九大応力研） EarthCARE衛星搭載雲レーダとライダーによる雲物理特性プロダクト
- A356 佐藤 可織（応力研） 衛星搭載アクティブセンサ解析データ利用に向けたアルゴリズム開発と課題
- A357 平形 麻紀（JAXA/EORC） TRMM データの利用による CloudSat 降水識別の改良
- A358 中島 孝（情報技術センター） EarthCARE搭載MSIセンサの雲解析アルゴリズム
- A359 神 慶孝（名大院環境） CloudSat-CALIPSO-MODIS雲マスクを用いた誤判別雲の検出手法の開発
- A360 福田 悟（JAXA/EORC） EarthCAREのMSI単体エアロゾルプロダクト・アルゴリズムについて
- A361 永尾 隆（東海大TRIC） EarthCARE/MSI水雲微物理特性プロダクトに対するサブピクセルスケール雲水平不均質性の影響

座長：藤吉康志（北大低温研）

- A362 藤吉 康志（北大低温研） グライダーを用いたEarthCAREプロダクト検証観測計画
- A363 杉本 伸夫（国立環境研） ATLIDエアロゾル解析アルゴリズムの開発と地上検証計画
- A364 安永 数明（富山大院理工） CINDY期間中のHSRLとCALIPSO搭載ライダーによる観測プロファイルの比較
- A365 堀江 宏昭（NICT） 衛星搭載雲レーダ(EarthCARE/CPR)の検証用レーダ開発
- A366 山本 真之（京大生存研） ウィンドプロファイラーによる鉛直流計測を活用したEarthCARE衛星雲プロダクトの検証提案
- A367 佐藤 正樹（東大大気海洋研） 衛星シミュレータJoint Simulatorの開発と数値モデルの雲特性検証
- A368 早坂 忠裕（東北大院理） 夏季北太平洋の下層雲に及ぼす上層雲の影響

大会第3日〔 11月21日(木) 〕 13:30～17:00 スペシャル・セッション

B 会場

近年における日本の冬の気象：気候変動，遠隔応答の枠組みからの理解

座長： 本田明治（新潟大学）

- B351 佐藤 友徳（北大院地球環境） 日本海海面水温の上昇と冬季降水量の長期変化傾向について
- B352 安藤 雄太（三重大院生物資源） 2012/13 年の寒冬とAO・WP パターン・日本周辺の海面水温との関係
- B353 西井 和晃（東大先端研） 秋季対馬海峡流量と冬季西太平洋パターンとの関係について
- B354 田中 翔（東大先端研） エネルギー論に基づく西太平洋パターンの維持過程メカニズムの考察
- B355 水田 亮（気象研） 中緯度低気圧発達における上下層別寄与の見積もりとその将来変化
- B356 岩本 勉之（極地研／新潟大理） 準リアルタイム積雪分布監視システムによる2012/13冬季新潟県の降雪分布

座長： 猪上 淳（国立極地研究所）

- B357 門野 美緒（新潟大院自然） 近年の北極域へのエネルギー輸送量の変化の特徴
- B358 佐藤 和敏（総研大複合科学） バレンツ海の水氷減少と中緯度大気応答との因果関係について
- B359 中野渡 拓也（北大低温研） バレンツ海の水氷変動の予測可能性
- B360 本田 明治（新潟大理） 近年の冬季ユーラシアの低温と夏季北極海の水氷域減少

座長： 高谷康太郎（海洋研究開発機構）

- B361 中村 哲（極地研） AFES感度実験による北極水氷減少の北半球気候への影響評価—実験設定と夏季気候への影響—
- B362 浮田 甚郎（新潟大） AFES感度実験による北極水氷減少の北半球気候への影響評価—成層圏に注目した冬季気候への影響—
- B363 山崎 孝治（極地研） AFES感度実験による北極水氷減少の北半球気候への影響評価—冬季気候への影響とその季節依存性—
- B364 森 正人（東大気海洋研） 近年の北極海水氷の減少とユーラシア大陸の寒冬について

総合討論

大会第3日〔 11月21日(木) 〕 13:30～17:00 スペシャル・セッション

C 会場

大気－陸面間の水・エネルギー・炭素フラックスに関する最新研究2013

座長：吉田龍平（東北大院理）

- C351 後藤 大輔 (極地研) 大気中酸素濃度観測に基づく全球炭素循環の研究
- C352 加藤 悦史 (環境研) 全球陸域炭素収支モデリングにおける土地利用変化および木材収穫の影響
- C353 山田 大輔 (名大院環境) 微生物成長プロセスを統合した陸域生物圏モデルによる全球土壌分解量の解析
- C354 大石 龍太 (極地研/大気海洋研) 最終氷期極大期における 植生分布変化が気候と陸域炭素貯留に与える影響
- C355 澤田 洋平 (東大院工) マイクロ波衛星データを利用した水文－陸上生態系同化結合モデルの開発
- C356 吉田 龍平 (東北大院理) Jarvis型気孔コンダクタンスモデルにおけるパラメータを固定した水熱フラックス計算の可能性と限界
- C357 斉藤 和之 (JAMSTEC/RIGC) GRENE-TEA 陸域モデル相互比較プロジェクトの概要

座長：佐々井崇博（名大院環境）

- C358 植山 雅仁 (大阪府大生命) アラスカ域における北極生態系のCO₂収支の広域評価：フラックス観測ネットワークと経験的広域化
- C359 佐々井 崇博 (名大院環境) 衛星観測データを複合利用した診断的手法によるシベリア地域の炭素収支解析
- C360 帯川 裕基 (名大理学部) 東アジアにおけるNEP変動要因の地域的特徴の解析
- C361 滝本 貴弘 (農環研) チベット高原南部における裸地面熱・水収支の長期解析
- C362 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖域の熱・水循環
- C363 石井 翔太 (東北大院理) アフリカ大陸における動的全球植生モデルを用いた炭素性エアロゾル放出量の降水と気温の周期変動依存性

座長：小谷亜由美（名大院生命農学）

- C364 小谷 亜由美 (名大院生命農学) 東シベリア森林地帯における大気陸面研究－タワークラックス観測を中心に
- C365 斉藤 淳志 (名古屋大院生命農学) 東シベリアカラマツ林における、枯死木出現に伴う上層群落と林内から生じる潜熱フラックスの変化
- C366 甲斐 智博 (気象研) 気象研究所露場観測データによる草地の地表面熱収支の解析
- C367 前田 英俊 (東大院工) レーザー分光計を用いた水田上での連続高頻度水蒸気同位体比測定
- C368 石田 祐宣 (弘前大院理工) 白神山地ブナ林における熱・水・CO₂フラックスの観測

大会第3日 [11月21日(木)] 13:30~17:00

口頭発表

D 会場

中層大気

座長 : 黒田友二 (気象研)

- D351 塩谷 雅人 (京大生存研) SMILESとオゾンゾンデ観測のオゾンプロファイルの比較検証
ーオゾンゾンデに起因する問題点についての考察ー
- D352 廣岡 俊彦 (九大院理) 成層圏突然昇温前後の中間圏力学場の変動(II)
- D353 野口 峻佑 (京大院理) 成層圏周極渦崩壊現象の予測可能性~2010年1月と2009年1月の比較解析~
- D354 黒田 友二 (気象研) 冬季成層圏循環の環状モード予測精度に与える役割
- D355 山下 陽介 (レディング大学) 成層圏QBOの南半球大気へのテレコネクションに見出された長期変動
- D356 小林 ちあき (気象研) JRA-55で表現された平均子午面循環の特徴(2)
- D357 高麗 正史 (東大院理) 成層圏突然昇温時に見られる極域対流圏上層の雲出現頻度の変動について
- D358 土屋 主税 (東大院理) AIRS高解像度温度データに現れた重力波の経年変動
- D359 木下 武也 (NICT) アラスカ、ポーカークラットMFレーダーで観測された中間圏重力波の日内変動に関する研究
- D360 佐藤 薫 (東大院理) 南極昭和基地大型大気レーダー (PANSY) による初期観測結果
- D361 雨宮 新 (東大院理) 3次元伝播を考慮した大気重力波の強制の計算
- D362 増田 陽洋 (東大院理) 高解像度GCMデータを用いた成層圏界面3次元構造の力学
- D363 渡辺 真吾 (JAMSTEC) 大気大循環モデルでシミュレートされる重力波運動量フラックスの鉛直解像度依存性

大気放射

座長 : 石元裕史 (気象研)

- D364 Husi Letu (TRIC) Evaluation of the ice crystals scattering database for GCOM-C/SGLI
- D365 片桐 秀一郎 (東北大院理) 上層雲の幾何学的厚さの変化とその放射への影響について
- D366 河本 和明 (長大院 水産環境) 中緯度における水雲のドリズル成長過程の雲頂高度依存性
- D367 後藤 慎司 (名大院環境) 温室効果ガスの増加によって寒冷化する高度領域と温暖化する高度領域との境界高度の温室効果ガスの持続的増加に伴う上昇について:放射平衡モデルで示唆される特徴
- D368 石元 裕史 (気象研) 赤外サウンダAIRS輝度温度データの1D-Var解析から求まる対流圏中層の水蒸気場
- D369 北古賀 識帆 (奈良女子大院人間文化) SKYNET 福江島・奄美大島観測サイトにおける大気現象とエアロゾルの関係
- D370 Khatri Pradeep (CERES) Comparison of single scattering albedoes of aerosols obtained from observation data PREDE sky radiometer and CIMEL sun photometer
- D371 内山 明博 (気象研) 地上でのエアロゾル光学特性の連続観測
- D372 朽木 勝幸 (気象研) ニーオルスンにおける積雪不純物濃度と積雪粒径の観測
- D373 青木 輝夫 (気象研) 積雪アルベド物理モデルの再検証
- D374 中島 英彰 (環境研) 太陽紫外線によるビタミンD生成と有害性の評価

大会第1日 〔 11月19日(火) 〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P101 高野 哲夫 (SnowCast) 山形県置賜地方における降雪量と時間帯の関係
- P102 重田 祥範 (立正大地球環境) 地峡風“肱川あらし”に見られる強風帯の時空間的特徴ー発生期から衰退期までー
- P103 寝占 祐太 (東工大理工) 東京ー熊谷間における夏季東京湾海風の侵入挙動
- P104 工藤 嘉晃 (日本大院総合基礎) 相模湾からの海風進入過程
- P105 平野 竜貴 (防衛大地球海洋) 東京都心における二酸化炭素濃度
- P106 志藤 文武 (気象研) 観測露場周辺の気温の通年観測 (第2報) ー東京(千代田区大手町)の場合ー
- P107 清水 暁 (防衛大地球海洋) 温度分散法を用いた代々木周辺におけるゼロ面変位の推定
- P108 萩野谷 成徳 (気象研) 汎用デジタルカメラを使用した野外P I V技術
- P109 北村 祐二 (気象研) a priori 解析に基づいて推定した渦粘性係数の空間解像度依存性 (2)
- P110 南雲 信宏 (気象研) NHM境界層過程の理想実験による解像度依存性検証
- P111 大泉 伝 (地球環境変動領域) スーパーコンピュータ「京」を用いた数値気象モデルNHMの大規模計算
- P112 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) Dual Localization法における局所化パラメータ敏感性の調査
- P113 小田 真祐子 (気象研) 2スケールNeighboring Ensembleに基づく変分法同化法スキーム
- P114 直原 悠紀子 (神戸大院工) 超高解像レーダーと移流モデルを用いた降雨予測場の誤差評価に関する研究
- P115 吉田 龍二 (理研計算科学) 二十面体格子モデルの力学コア比較実験
- P116 杉山 耕一郎 (宇宙研) CReSS を用いた火星気象予測実験
- P117 下瀬 健一 (産総研) 太陽光発電予測に向けた気象庁メソモデルの直達日射量と散乱日射量の予測精度検証
- P118 野原 大輔 (電中研) 太陽光発電のための日射量予測の信頼性指標
- P119 有馬 薫 (山口大農) ビデオゾンデと偏波レーダーCOBRAとの同期観測による雲物理情報と偏波パラメータの関係
- P120 道端 拓朗 (九大院総理工) CloudSat衛星観測による北半球中緯度帯の水雲の微物理・巨視的特性
- P121 ウェチャヨン パリチャート (東北大院理) Verification of Simulated Cold Pools in JMA-NHM Simulations with Different Microphysics Schemes
- P122 高橋 暢宏 (NICT) IoudSatとTRMM/PRを用いた気候値的な雨滴粒径分布パラメータの推定 (その2) D0推定結果の比較
- P123 本吉 弘岐 (防災科研雪氷) 地上降雪観測による融解層に伴う雲の含水状態の観測
- P124 斎藤 篤思 (気象研) 氷晶核数濃度の地上モニタリング観測
- P125 下地 伸明 (琉球大学工学部) 雷の画像解析によるエネルギー分布の研究
- P126 出世 ゆかり (防災科研) 関東平野で発生した夏季雷雲の雲微物理構造と時間発展
- P127 野澤 知弘 (筑波大院生命環境) 気塊持ち上げ混合による積雲対流シミュレーションの初期擾乱作成手法
- P128 山路 実加 (防衛大地球海洋) 2012年5月6日関東地方で発生した積乱雲セルの特徴

大会第1日 [11月19日(火)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P129 小林 哲也 (名大地球水循環) 三重県いなべ市で竜巻をもたらしたメソサイクロンの構造
- P130 牧草 ひとみ (高知大院理) 台風による高知県の大雨
- P131 渡邊 明 (福島大院理工) 東北地方における短時間強雨の出現特性
- P132 佐野 哲也 (山梨大ICRE) 冬季の南岸低気圧に伴う甲府盆地の降雪の事例解析
- P133 山根 悠介 (常大) バングラデシュにおけるシビアローカルストーム発生発達環境の将来変化
- P134 村田 文絵 (高知大理) バングラデシュにおけるGPS可降水量変動
- P135 荻野 慎也 (JAMSTEC) VPREX2010集中観測で捉えられた中部ベトナム東岸における対流活動の特徴 その2: 総観擾乱との関係
- P136 工藤 督右 (九大院理) 台風が励起するロスビー波による水蒸気の長距離輸送プロセス
- P137 櫻木 智明 (気象研) TRMM/TMI輝度温度データを用いた台風強度推定法の改良と誤差検証 (その2)
- P138 吉野 純 (岐阜大院工) 領域台風モデルによる2004年全台風の強度解析
- P139 辻野 智紀 (名大地球水循環) 2012 年台風 15 号 (Bolaven)の多重壁雲の維持に関する数値的研究
- P140 嶋田 宇大 (気象研) 単一ドップラーレーダーデータを利用した台風強度の推定ー2012年台風第15号の事例ー
- P141 角 ゆかり (名大院環境) 準二日振動における水蒸気変動と熱・水収支解析
- P142 坂崎 貴俊 (京大生存研) 高分解能GCMデータにおけるnon-migrating tides
- P143 川上 聖 (千葉大院理) モンゴルにおける近年の気候変動と植生応答
- P144 筒井 純一 (電中研) CMIP5モデルの簡易モデル近似から得られる気候感度
- P145 遠藤 洋和 (気象研) 北東日本の夏季気温の長期変化とその要因
- P146 足立 恭将 (気象研) 火山噴火規模の環境変動への影響
- P147 加藤 央之 (日大文理) 海面気圧分布パターンの客観分類を用いた統計ダウンスケーリングの試み
- P148 横山 千恵 (東大大気海洋研) JRA-55データを用いた梅雨前線に伴う降水の長期変化傾向に関する研究
- P149 井上 知栄 (JAMSTEC/RIGC) タイ東北部におけるプレモンスーン季降水量の経年変動
- P150 眞崎 良光 (環境研) 流況の指標化による全球主要河川の気候変動影響評価
- P151 野坂 真也 (気象研) 領域気候モデルによるやまじ風の再現性に関する研究
- P152 花房 瑞樹 (気象研) 十勝地方広尾町で発生する強風の将来変化について
- P153 佐々木 秀孝 (気象研) 地球温暖化による六甲おろしの将来変化予測の可能性について
- P154 小堀 佳奈子 (筑波大学院生命環境) 日本の過去100年間の気温観測値における広域変動成分と都市化成分の特性
- P155 朝倉 利員 (果樹研) 果樹の雪害は温暖化しても減少していない?
- P156 高橋 洋 (JAMSTEC/RIGC, 首都大学東京) 東京および名古屋都市域での地上気温の年々変動に対する海面水温 (SST) の影響
- P157 足立 幸穂 (JAMSTEC/RIGC) 名古屋都市圏の将来人口予測をベースとした土地利用変化と地域気候への影響
- P158 久保川 陽呂鎮 (東大大気海洋研) 統計的ダウンスケーリングを用いた, 将来の日本における観光業の評価

大会第1日 [11月19日(火)] 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P159 田中 博春 (長野県環境保全研) 近年の秋季の高温化について ―長野県内での検証事例―
- P160 吉良 真由子 (筑波大院生命環境) 地球軌道変化による太陽入射量の緯度・季節変化に対する気候応答
- P161 杉本 周作 (東北大院理) 12月の日本海東部潜熱フラックス変動に果たす海面水温の役割〜北日本降水量変動への影響〜
- P162 宮崎 真 (極地研) GRENE-TEAシベリア北東部タイガ・ツンドラ境界域フラックス観測
- P163 杉田 考史 (環境研) シベリア上空の気温・水蒸気高度分布の比較
- P164 庭野 匡思 (気象研) 積雪変質モデルを用いたグリーンランド氷床上積雪物理状態の再現
- P165 立入 郁 (JAMSTEC/RIGC) 濃度シナリオ実験の結果を利用した気候安定化シナリオ作成の試み
- P166 小玉 知央 (JAMSTEC/RIGC) 全球非静力学大気モデルNICAMの中層大気への拡張
- P167 今井 弘二 (JAXA/ISAS) 日食から分かる中間圏オゾンの太陽放射量による影響
- P168 田中 孝 (九大院・理) 成層圏突然昇温に伴う中間圏・下部熱圏の応答
- P169 大羽田 剛史 (九大院理) EOS/MLSデータに基づく成層圏・中間圏における半年周期振動の解析
- P170 シェリフ多田野 サム (東大大気海洋研) 流線関数場におけるテレコネクションパターン
- P171 大谷 和男 (岡山大院自然) 九州北西部における梅雨降水量の2000年以降の減少と広域場 (大雨時の前線の位置と総観場との関係に注目して)
- P172 佐藤 和敏 (総研大複合科学) 領域モデルHIRHAMにおける夏季北極海上の低気圧の再現性について
- P173 山崎 哲 (地球シミュレータセンター) 2012年8月の北極低気圧に対するドイツ砕氷船上ゾンデ観測の影響
- P174 鈴木 智幸 (学芸大) 高校生向けのスプライト親雷雲観測用教材作成と展開
- P175 石田 春磨 (山口大院理工) 気象衛星による霧検出手法改良のための低層雲特性の調査
- P176 竹岡 遼 (奈良女子大院人間文化) 北極域における雲と赤外放射量の特徴
- P177 櫻井 万祐子 (名大院環境) TTLでの巻雲生成過程についての数値実験
- P178 西澤 慶一 (電中研) 簡易気候モデルのためのエアロゾル放射強制力の評価スキーム
- P179 永井 智広 (気象研) Nd:YAGレーザーを用いた二酸化窒素観測用ライダーの開発(III)
- P180 稲飯 洋一 (京大生存研) 赤道東部太平洋対流圏下層におけるCO₂濃度観測と流跡線解析
- P181 杉山 大祐 (名大院環境) 南北1次元シンプル地球システムモデルによる将来的な陸域炭素収支量解析
- P182 土居 七奈美 (防衛大地球海洋) 空気潤滑法で生成される水中の泡とアルベドの関係について
- P183 石塚 正秀 (香川大工) 地表面から飛散したダスト粒子による再浮遊放射性物質の一次元推定
- P184 佐藤 陽祐 (理研計算科学) エアロゾル輸送モデルおよび大気化学輸送モデルを組み込んだJMANHMによる関東域でのシミュレーション
- P185 大田 彩乃 (奈良女子大院人間文化) 視程観測データを用いた東アジア域の大気環境の研究
- P186 池田 礼佳 (奈良女子大院人間文化) 後方流跡線解析を用いた空気塊分類とタグ付きトレーサー実験によるオゾン起源の比較に関する研究
- P187 橋本 真喜子 (東大大気海洋研) GOSAT CAIイメージャーデータを用いたエアロゾル光学特性の多変量解析手法の開発 (2)

大会第1日 〔 11月19日(火) 〕 17:00~18:00 ポスター・セッション

- P188 大塚 夏子 (九大院総理工) 海洋起源有機エアロゾルのモデリング
- P189 片山 理恵 (首都大院都市環境) モンスーンアジアにおけるエアロゾル光学的厚さの季節変化および降水活動との関連性
- P190 三澤 翔大 (東大大気海洋研) Stretch-NICAMを用いたSPMデータ同化システムの開発・検証
- P191 原田 裕介 (寒地土研) 気候モデルの将来予測値を利用した新雪除雪作業頻度の推定
- P192 高橋 信人 (宮城大) 仮設住宅室内における温湿度の日変化 ー岩手県宮古市における観測事例ー
- P193 鈴木バーカー 明日香 (筑波大生命環境) 日本における暑熱指標WBGTの地域特性と将来予測
- P194 高根 雄也 (産総研) 都市街区内における温熱環境の将来予測に向けた都市気象・建物エネルギー連成数値モデルの精度検証
- P195 小川 まり子 (神戸大院工) ビデオゾンデ及びCバンド偏波レーダーを用いた氷粒子観測
- P196 杉村 昌俊 (高知大院理) 室戸ドップラーレーダーに捕捉された渦の統計的特性
- P197 菊池 博史 (阪大院工) 国際宇宙ステーションからの雷放電に伴うVHF帯電磁波の観測と周波数特性
- P198 梶原 佑介 (気象庁観測課／気象研) 現業用気象ドップラーレーダーによるVAD風の利用可能性
- P199 後藤 忠広 (NICT) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討 その2 レーダ同期技術の検討
- P1a0 大石 哲 (神戸大都市安全) A Wireless Mesh Sensor Network framework for river flood detection which can be used as a emergency communications network in case of disaster
- P1a1 菊池 博史 (阪大院工) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討 その4 2次元アレイアンテナにおける偏波特性の検討
- P1a2 増田 一彦 (気象研) 衛星からの赤外観測による火山灰領域の検出
- P1a3 平野 洪賓 (防災科研) XバンドMPレーダVILを用いた降水ナウキャストの開発
- P1a4 吉田 幸生 (環境研) GOSAT TANSO-FTS SWIR L2 カラム量プロダクトー次期バージョン (V03) へ向けた検討ー

大会第3日 〔 11月21日(木) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 加藤 隆之 (筑波大院生命環境) 斜面温暖帯・斜面冷気流の数値シミュレーション
- P302 中島 虹 (首都大院都市環境) 関東平野における海風が大気汚染物質高濃度域の移動に与える影響
- P303 陳 桂興 (東北大院理) A super-high-resolution mesoscale modeling on the 3D structures of sea-breeze front head
- P304 町田 駿一 (首都大院都市環境) 夏季晴天日における名古屋市周辺の雲分布とその時間変化
- P305 藤間 由佳 (首都大院都市環境) 東京都における都市キャノピー層の冷え方についての考察ー都心と郊外の比較からー
- P306 中西 幹郎 (防衛大地球海洋) 夜間境界層のLES
- P307 池田 亮作 (筑波大計算科学) 街路樹を考慮に入れた都市街区内放射モデルの開発
- P308 八木 綾子 (東工大院理工) ドップラーライダーを用いた乱流構造の主流方向長さスケールの推定と検証
- P309 ユー チャルハン (名大地球水循環) Characteristics of observed wind fields at offshore and coast with 50 m tower in Wajima area
- P310 佐々木 実紀 (弘前大院理工) ヤマセの気団変質にかかわるSSTと熱フラックスは大気再解析データでどのように表現されているか
- P311 北村 岳史 (神戸大院工) 降雨予測を含めた歩行者ナビの開発に関する研究
- P312 レ デュック (JAMSTEC) Covariance localization in the approximated Karhunen-Loève basis
- P313 大塚 成徳 (理研計算科学) ベイズ推定を用いた低次元モデルによる動的マルチモデル EnKF 同化実験
- P314 瀬古 弘 (気象研) 観測データの即応的インパクト実験
- P315 伊賀 晋一 (理研計算科学) 熱帯を細かくした格子を用いた水惑星実験
- P316 大竹 秀明 (産総研) 局地予報モデル(LFM)の太陽光発電への利用とMSM日射量予測との比較
- P317 下瀬 健一 (産総研) 太陽光発電予測に向けた気象庁メソモデルの日射量予測改良ー日射量予測に影響を及ぼす雲量予測手法の改良ー
- P318 島田 正樹 (防衛大地球海洋) 人工降雨による豪雨(豪雪)軽減実験
- P319 本田 匠 (九大院理) 冬季日本海および北陸地方における降雪雲再現の雲微物理パラメタリゼーション依存性
- P320 橋本 明弘 (気象研) 航空機・地上観測データに基づく雲物理モデルの改良
- P321 清木 達也 (JAMSTEC/RIGC) 均一氷晶核形成を通じたCirrusに対する地形性重力波の影響
- P322 広瀬 民志 (CEReS) 静止気象衛星を用いた降雨域ポテンシャルマップの作成とGSMaP
- P323 佐々木 大成 (九大院理) ビデオゾンデ観測で得られた冬季北陸雪雲の微物理的・電気的構造
- P324 越田 智喜 (いであ) パーシベル, インパクト型ディストロメータ, マイクロレインレーダの観測精度比較
- P325 上原 盛希 (琉球大工) 雷計測のための光検出装置と疑似雷光発生装置の製作
- P326 櫻井 南海子 (防災科研) 2011年8月18日にKaバンドレーダで捉えた発達初期段階の積乱雲に関する再現・同化実験
- P327 柏柳 太郎 (日本無線) X-bandレーダーによる積乱雲発生初期のエコー構造
- P328 大窪 拓未 (防衛大地球海洋) 2012年8月30日に房総半島で発生した積乱雲turretの成長過程

大会第3日 [11月21日(木)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P329 牧野 博昭 (神奈川大) 局地的大雨発生時の気象概要分析
- P330 津口 裕茂 (気象研) 2010年10月20日の“奄美豪雨”の発生要因について (その3)
- P331 工藤 風貴 (筑波大院生命環境) 近畿地方で発生する夏季の強雨と局地循環の関係
- P332 木村 祐輔 (新潟大院自然) 冬季新潟市域周辺の降水量分布に対する佐渡島の影響について
- P333 茂木 耕作 (JAMSTEC) インド洋の海面水温前線上での対流初期形成過程～CINDY2011で捉えられたMJOの発生～
- P334 藤田 実季子 (JAMSTEC/RIGC) インド洋ダイポールモード現象とスマトラ島降水日変化
- P335 平田 英隆 (九大院・理) 北半球夏季における台風の遠隔影響と熱帯季節内変動との関係
- P336 斉藤 和雄 (気象研/JAMSTEC) 台風が南海上にある時に出現する非地衡風の成因について
- P337 宮地 哲朗 (京大防災研) NCEP-GFSを用いた複数解析値からの台風進路予報実験
- P338 萩本 翔平 (東大大気海洋研) 衛星データを用いた台風壁雲の波数解析
- P339 久保 圭之 (名大地球水循環) 台風T1013(Megi)の中心付近におけるドロップゾンデ観測データとCReSS-NHOESによるシミュレーション結果の比較
- P340 吉田 康平 (気象研) マルチ対流スキーム・SSTアンサンブル実験による熱帯対流圏界層の不確実性評価
- P341 安田 珠幾 (気象研) MRI-CGCM3十年規模予測実験における北太平洋西部海面水位変化
- P342 二宮 大輝 (首都大院都市環境) 冬季アジアモンスーン季節内変動の長期変化
- P343 井上 晃介 (東京学芸大教育) 温帯低気圧の急発達事例における熱帯擾乱及び定常ロスビー波の寄与
- P344 長谷川 聡 (土木研究所ICHARM) CMIP5の日降水量データの統計的ダウンスケーリング
- P345 橋本 明弘 (気象研) JMA-NHMを用いた火山灰輸送実験: 2011年1月26-27日新燃岳噴火
- P346 岡田 将誌 (農環研) 作物生産性-水資源量統合予測モデルを用いた穀物主要生産地域における流域水収支の再現性
- P347 荒川 隆 (JAMSTEC/RIGC) NICAM-COCO/NICAM-IO結合の現状と将来展望
- P348 門倉 真二 (電中研) 統計的手法による気象要素の確率密度推定(5)—CMIP5の複数モデル出力を用いた、河川流域降水量のPDFの将来変化予測—
- P349 今北 詠士 (東京海上研究所) CMIP5マルチモデルと確率台風モデルを組合わせた将来台風予測
- P350 今清水 雄二 (無所属) 日本国内の地方の温暖化におけるヒートアイランド効果
- P351 加藤 新太 (筑波大院生命環境) 日本における無降水日の季節別地域特性
- P352 村田 昭彦 (気象研) 雲解像地域気候モデルによる南西諸島の降水量の再現性
- P353 高橋 洋 (JAMSTEC/RIGC, 首都大学東京) 冬季モンスーンにおける日本海側の降水量と降雪量への海面水温 (SST) の影響 —時間スケール依存性—
- P354 若月 泰孝 (筑波大院生命環境) 中部山岳域の積雪期間の気候変化予測
- P355 中井 専人 (防災科研・雪氷) 30冬季の多雪指数の変動
- P356 大久保 さゆり (東北農研) 空間内挿データおよび力学モデルによるダウンスケール気象データの比較

大会第3日 [11月21日(木)] 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P357 久持 亮 (日大文理) テレコネクション・気候システム変動が日本の気温に与える影響の可能性
- P358 大城 萌美 (筑波大院生命環境) 過去1,000年の気温およびアジアモンスーンの変動について
- P359 瀬尾 康晴 (東北大院理) 黒潮続流流路と冬季海面熱フラックスの関係について
- P360 吉田 奈津妃 (東大院工) JRA-55における地表面気象要素の季節平均偏差の長期傾向
- P361 北川 裕也 (防衛大地球海洋) 熱帯域の深い対流に伴うオーバーシュートの再現と下部成層圏水蒸気量変化への影響
- P362 小濱 里沙 (東大大気海洋研) ユーラシア域における消雪日と大気場の関係
- P363 嶋田 陽一 (神戸大学研究環) 北極海における海氷減少期の航海シミュレーションに関する基礎的研究
- P364 飯塚 聡 (防災科研) 日本海の水水温前線と冬季降水量の年々変動
- P365 尾堂 深南 (九大院理) 渦と渦の相互作用 ー 2次元乱流におけるupward cascadeの物理的実体ー
- P366 奥原 幸平 (首都大院都市環境) ENSO, IOD(インド洋ダイポールモード)と西風バーストの発生頻度の関係
- P367 坂崎 貴俊 (京大生存研) SMILESで観測されたO₃,HClの日変動ー(1)潮汐鉛直風の推定と(2)SAGEIIデータにおけるSunset-sunrise biasの要因ー
- P368 佐野 琢己 (宇宙研) SMILES レベル 2 プロダクト ver3.0 改訂状況
- P369 長浜 芳寛 (環境研) FTIRを用いた2007/2011年南極における成層圏大気微量成分の観測
- P370 鳥羽瀬 世宇 (九大院理) 夏季の北極海へ侵入する低気圧の活動とその変動機構
- P371 中野 優子 (九大院理) 最大クラスの爆弾低気圧が黒潮続流域近傍に集中する要因とその環境場
- P372 菅野 湧貴 (東北大院理) 寒気質量の南北半球間の比較
- P373 井上 梓 (奈良女子大院人間文化) 地上設置型雲レーダによって観測された下層雲の特徴
- P374 丸山 拓海 (東北大院理) 夏季北太平洋における下層雲の微物理特性の領域による違い
- P375 吉門 洋 (気象協会) 関東地方中央部の高濃度O_x発生に関わる気候変化
- P376 上沢 大作 (気象研) 地上放射観測による水雲の物理量推定
- P377 西 憲敬 (福岡大理) 熱帯中上部対流圏に広がる雲の解析
- P378 大庭 雅道 (電中研) ENSO振幅のCO₂濃度変化に対する不可逆性
- P379 齋藤 尚子 (千葉大CEReS) 改良版アルゴリズムによるGOSAT/TANSO-FTS TIR CO₂およびCH₄ リトリバー
- P380 森本 真司 (東北大院理) 南極・昭和基地での成層圏大気採取実験ー第54次観測隊実験報告ー
- P381 田上 雅浩 (熊大院自然科学) 冬季日本にもたらされる水蒸気起源の推定
- P382 塚本 修 (岡山大・理) スカイラジオメータを用いた岡山上空のエアロゾルの光学的特性の研究
- P383 渡辺 幸一 (富山県立大) 回転翼航空機を利用した富山県上空の微量気体成分の測定 (II)
- P384 村田 浩太郎 (熊本県立大環境共生) バイオエアロゾル濃度: 2012と2013年春期の熊本西岸部における観測
- P385 渡辺 幸一 (富山県立大) 立山および能登半島珠洲市における大気エアロゾルの観測

大会第3日 〔 11月21日(木) 〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P386 黒川 歌夕 (奈良女子大院人間文化) 東アジアにおける対流圏オゾンのクライマトロロジーの研究
- P387 齊藤 雅典 (東北大院理) 薄明の空に対するエアロゾルの光学・物理特性の影響
- P388 山地 萌果 (首都大院都市環境) 衛星観測によるエアロゾル-雲-降水の年々変動
- P389 山口 慶人 (九大院総理工) 観測データを用いた全球 3 次元ビン法エアロゾルモデルの検証
- P390 田中 健路 (広工大環境) 冬季から春季にかけて東シナ海上で発生する気象津波に関する総観場
- P391 松下 拓樹 (寒地土研) 湿雪雪崩の発生条件における厳冬期と融雪期の違いについて
- P392 西森 基貴 (農環研) 高知県における豪雨と農業気象災害発生
- P393 朝倉 利員 (果樹研) サクラの開花期間の地域性とそれに関与する気温条件
- P394 廣田 陸 (筑波大院生命環境) 芦ノ湖で発生する霧の研究
- P395 小山 亮 (気象研) ラビッドスキャン観測で得られる台風領域の上層発散とAMSR-E等で観測される降水バンドとの関係
- P396 岡田 牧 (筑波大院生命環境) 植生面における熱交換解析のためのポリエチレンチャンバー
- P397 小林 隆久 (電中研) 短波長偏波レーダーの多重散乱シミュレーション
- P398 前坂 剛 (防災科研) KDP-R関係のみを用いた降雨強度推定の精度検証
- P399 花土 弘 (NICT) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討その3 レーダーへの送受信パターンの割付・制御技術の検討
- P3a0 三隅 良平 (防災科研) 無人航空機による風速の測定
- P3a1 酒巻 洋 (三菱電機) 視線速度スクリーニングによる風推定精度改善に関する検討—実観測データによる検証—
- P3a2 大黒 篤司 (東海大海洋) 全球規模の高解像度日平均海上風速プロダクトの相互比較
- P3a3 奥山 新 (JAXA/EORC) 可視赤外イメージャの0.47um・0.86um帯を用いた強い降水域の抽出
- P3a4 河内 駿迪 (阪大院工) 雷放電に伴う Preliminary breakdown の発生高度と積乱雲内電荷構造

講演者索引

< A >

Abe Ayako (阿部 彩子)	A218
Adachi Sachiho (足立 幸穂)	P157
Adachi Toru (足立 透)	B118
Adachi Yukimasa (足立 恭将)	P146
Aizawa Takuro (相澤 拓郎)	D305
Akiyoshi Hideharu (秋吉 英治)	C102
Amemiya Arata (雨宮 新)	D361
Ando Yuta (安藤 雄太)	B352
Aoki Kazuma (青木 一真)	C209
Aoki Teruo (青木 輝夫)	D373
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	A165
Aonashi Kazumasa (青梨 和正)	A305
Aoyagi Toshinori (青柳 曉典)	A216
Arai Ken-ichiro (新井 健一郎)	B108
Arakawa Takashi (荒川 隆)	P347
Araki Kentaro (荒木 健太郎)	B312
Arima Kaori (有馬 薫)	P119
Arima Yusuke (有馬 雄祐)	A113
Aruga Ryo (有賀 涼)	B201
Asakura Toshikazu (朝倉 利員)	P155
Asakura Toshikazu (朝倉 利員)	P393
Asami Shunsuke (阿佐見 俊介)	D118
Asano Naruhiko (浅野 匠彦)	C155

< C >

Chen Guixing (陳 桂興)	P303
-----------------------	------

< D >

Deushi Makoto (出牛 真)	C107
Doi Nanami (土居 七奈美)	P182

< E >

Endo Hirokazu (遠藤 洋和)	P145
Enomoto Takeshi (榎本 剛)	A312

< F >

Fudeyasu Hironori (筆保 弘徳)	C307
Fujima Yuka (藤間 由佳)	P305
Fujita Akira (藤田 彬)	B111
Fujita Mikiko (藤田 実季子)	P334
Fujita Satoshi (藤田 啓)	D307
Fujiyoshi Yasushi (藤吉 康志)	A362
Fukuda Satoru (福田 悟)	A360
Fukutomi Yoshiki (福富 慶樹)	D156
Furumoto Shogo (古本 翔吾)	C208

< G >

Gan Tong (カン トン)	D211
Geng Biao (耿 驍)	D153
Goto Daisuke (五藤 大輔)	C110
Goto Daisuke (後藤 大輔)	C351
Goto Shinji (後藤 慎司)	D367
Gotoh Tadahiro (後藤 忠広)	P199
Guo Xinyu (郭 新宇)	C158

< H >

Hagimoto Shouhei (萩本 翔平)	P338
Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳)	C362
Haginoya Shigenori (萩野谷 成徳)	P108
Hamada Atsushi (濱田 篤)	A157
Hamaki Tatsuya (濱木 達也)	A109
Hanado Hiroshi (花土 弘)	P399
Hanafusa Mizuki (花房 瑞樹)	P152
Hara Masayuki (原 政之)	D157
Harada Masashi (原田 昌)	A206
Harada Yusuke (原田 裕介)	P191
Hasegawa Akira (長谷川 聡)	P344
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P320
Hashimoto Akihiro (橋本 明弘)	P345
Hashimoto Makiko (橋本 真喜子)	P187
Hatsushika Hiroaki (初鹿 宏壮)	A115
Hatsuzuka Daisuke (初塚 大輔)	D155
Hayasaka Tadahiro (早坂 忠裕)	A368
Hayasaki Masamitsu (早崎 将光)	A207
Hayashi Ayumu (林 步夢)	D154
Hirakata Maki (平形 麻紀)	A357
Hirano Kohin (平野 洪賓)	P1a3
Hirano Tatsuki (平野 竜貴)	P105
Hirata Hidetaka (平田 英隆)	P335
Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆)	B213
Hirooka Toshihiko (廣岡 俊彦)	D352
Hirose Hitoshi (広瀬 民志)	P322
Hirose Masafumi (広瀬 正史)	A156
Hirota Nagio (廣田 渚郎)	A205
Hirota Riku (廣田 陸)	P394
Hisamochi Ryo (久持 亮)	P357
Honda Meiji (本田 明治)	B112
Honda Meiji (本田 明治)	B360
Honda Takumi (本田 匠)	B106
Honda Takumi (本田 匠)	P319
Hori Masahiro (堀 雅裕)	A106
Horie Hiroaki (堀江 宏昭)	A365

Hoshino Shunsuke (星野 俊介)	D209
Husi Letu (Husi Letu)	D364

< I >

Iga Keita (伊賀 啓太)	D106
Iga Shin-ichi (伊賀 晋一)	P315
Iguchi Toshio (井口 俊夫)	A153
Iizuka Satoshi (飯塚 聡)	P364
Ikeda Ayaka (池田 礼佳)	P186
Ikeda Ryosaku (池田 亮作)	P307
Ikegami Masaaki (池上 雅明)	C111
Imada Yukiko (今田 由紀子)	A111
Imai Koji (今井 弘二)	P167
Imakita Eiji (今北 詠士)	P349
Imashimizu Yuji (今清水 雄二)	P350
Inai Yoichi (稲飯 洋一)	P180
Inoue Azusa (井上 梓)	P373
Inoue Hanako (猪上 華子)	B109
Inoue Kosuke (井上 晃介)	P343
Inoue Tomoshige (井上 知栄)	P149
Irie Hitoshi (入江 仁士)	C212
Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之)	A309
Ishida Haruma (石田 春磨)	P175
Ishida Sachinobu (石田 祐宣)	C368
Ishidoya Shigeyuki (石戸谷 重之)	B154
Ishihara Masahito (石原 正仁)	B203
Ishii Shoken (石井 昌憲)	B162
Ishii Shota (石井 翔太)	C363
Ishimoto Hiroshi (石元 裕史)	D368
Ishioka Sho (石岡 翔)	A117
Ishiwatari Masaki (石渡 正樹)	D102
Ishizaka Masaaki (石坂 雅昭)	B305
Ishizuka Masahide (石塚 正秀)	P183
Isobe Atsuhiko (磯辺 篤彦)	C159
Itahashi Syuichi (板橋 秀一)	C104
Itano Toshihisa (板野 稔久)	D167
Ito Junshi (伊藤 純至)	D115
Ito Kosuke (伊藤 耕介)	D170
Iwai Hironori (岩井 宏徳)	D214
Iwamoto Katsushi (岩本 勉之)	B356

< J >

Jikihara Yukiko (直原 悠紀子)	P114
Jin Yoshitaka (神 慶孝)	A359

< K >

Kachi Misako (可知 美佐子)	A162	Kobayashi Fumiaki (小林 文明)	B113	Maejima Yasumitsu (前島 康光)	B311
Kadokura Shinji (門倉 真二)	P348	Kobayashi Takahisa (小林 隆久)	P397	Maesaka Takeshi (前坂 剛)	P398
Kadono Mio (門野 美緒)	B357	Kobayashi Tetsuya (小林 哲也)	P129	Maki Masayuki (真木 雅之)	B206
Kadowaki Masanao (門脇 正尚)	C103	Kobori Kanako (小堀 佳奈子)	P154	Maki Taichi (真木 太一)	B307
Kai Tomohiro (甲斐 智博)	C366	Kodama Chihiro (小玉 知央)	A212	Maki Takashi (真木 貴史)	C205
Kajiwara Yusuke (梶原 佑介)	D208	Kodama Chihiro (小玉 知央)	P166	Maki Teruya (牧 輝弥)	C207
Kajiwara Yusuke (梶原 佑介)	P198	Kodama Yasumasa (児玉 安正)	D113	Makigusa Hiromi (牧草 ひとみ)	P130
Kamada Akane (鎌田 茜)	C105	Kohma Masashi (高麗 正史)	D357	Makino Hiroaki (牧野博昭)	P329
Kamahori Hiroataka (釜堀 弘隆)	A102	Koike Makoto (小池 真)	B158	Manda Atsuyoshi (万田 敦昌)	B219
Kamijo Kenichi (上條 賢一)	D201	Kondo Hiroaki (近藤 裕昭)	C214	Manda Atsuyoshi (万田 敦昌)	C156
Kamimera Hideyuki (上米良 秀行)	A166	Kondo Keiichi (近藤 圭一)	P112	Maruyama Takumi (丸山 拓海)	P374
Kanada Sachie (金田 幸恵)	D168	Kondo Yutaka (近藤 豊)	B152	Masaki Yoshimitsu (眞崎 良光)	P150
Kanaya Yugo (金谷 有剛)	B155	Koseki Mami (小関 麻真)	B303	Mashiko Wataru (益子 渉)	B104
Kanno Yuki (菅野 湧貴)	P372	Koshiba Atsushi (小柴 厚)	A101	Masuda Akihiro (増田 陽洋)	D362
Kashiwayanagi Taro (柏柳 太郎)	P327	Koshida Tomoki (越田 智喜)	P324	Masuda Kazuhiko (増田 一彦)	P1a2
Katagiri Shuichiro (片桐 秀一郎)	D365	Kotani Ayumi (小谷 亜由美)	C364	Matsumoto Kengo (松本 健吾)	A104
Katayama Rie (片山 理恵)	P189	Kubo Keishi (久保 圭之)	P339	Matsumura Shinji (松村 伸治)	A105
Kato Arata (加藤 新太)	P351	Kubokawa Hiroyasu (久保川 陽呂鎮)	P158	Matsuo Ryo (松尾 諒)	D111
Kato Etsushi (加藤 悦史)	C352	Kubota Takuji (久保田 拓志)	A154	Matsushima Toshiki (松嶋 俊樹)	D108
Kato Hisashi (加藤 央之)	P147	Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸)	D372	Matsushita Hiroki (松下 拓樹)	P391
Kato Kuranoshin (加藤 内藏進)	C310	Kudo Atsushi (工藤 淳)	D109	Michibata Takuro (道端 拓朗)	P120
Kato Kuranoshin (加藤 内藏進)	C311	Kudo Fuki (工藤 風貴)	P331	Michimoto Koichiro (道本 光一郎)	B116
Kato Ryohei (加藤 亮平)	B110	Kudo Tadasuke (工藤 督右)	P136	Michimoto Koichiro (道本 光一郎)	C306
Kato Takayuki (加藤 隆之)	P301	Kudo Takeshi (工藤 剛史)	B117	Miki Yurisa (三木 友梨紗)	B212
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	B214	Kudoh Yoshiaki (工藤 嘉晃)	P104	Minamide Masashi (南出 将志)	D172
Kato Teruyuki (加藤 輝之)	B215	Kumai Atsuki (熊井 暖陽)	A214	Minda Haruya (民田 晴也)	A161
Kawabata Takuya (川畑 拓矢)	A307	Kunii Masaru (国井 勝)	A302	Minobe Shoshiro (見延 庄士郎)	C167
Kawachi Toshimichi (河内 駿迪)	P3a4	Kunoki Shiori (久野木 梓織)	C154	Misawa Shouta (三澤 翔大)	P190
Kawada Masaki (河田 雅生)	B217	Kuribayashi Masatoshi (栗林 正俊)	A217	Misumi Ryohei (三隅 良平)	P3a0
Kawai Hideaki (川合 秀明)	A213	Kurihara Kazuo (栗原 和夫)	A112	Miyachi Tetsuro (宮地 哲朗)	P337
Kawai Yoshimi (川合 義美)	C166	Kuroda Tohru (黒田 徹)	A301	Miyasaka Takafumi (宮坂 貴文)	C165
Kawakami Satoshi (川上 聖)	P143	Kuroda Yuhji (黒田 友二)	D354	Miyazaki Shin (宮崎 真)	P162
Kawamoto Kazuaki (河本 和明)	D366	Kurokawa Kayu (黒川 歌夕)	P386	Mizuta Ryo (水田 亮)	B355
Kawamura Seiji (川村 誠治)	D207	Kusanagi Hiroshi (草薙 浩)	C308	Mochizuki Takashi (望月 崇)	A203
Kawase Hiroaki (川瀬 宏明)	A114	Kusanagi Hiroshi (草薙 浩)	C309	Mori Masato (森 正人)	B364
Khatri Pradeep (Khatri Pradeep)	D370	Kusunoki Kenichi (楠 研一)	B107	Morimoto Shinji (森本 真司)	P380
Kikuchi Hiroshi (菊池 博史)	P197	Kusunoki Shoji (楠 昌司)	A208	Morimoto Yusuke (森本 祐介)	A306
Kikuchi Hiroshi (菊池 博史)	P1a1	Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡)	D308	Morioka Yushi (森岡 優志)	D310
Kikuchi Nobuhiro (菊地 信弘)	C213			Moteki Kosaku (茂木 耕作)	P160
Kimura Yusuke (木村 祐輔)	P332			Moteki Kosaku (茂木 耕作)	P333
Kinoshita Takenari (木下 武也)	D359	< L >		Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐)	P123
Kira Mayuko (吉良 真由子)	P160	Le Duc (レデュック)	P312	Murakami Masataka (村上 正隆)	B159
Kitabatake Naoko (北畠 尚子)	D174	Luce Hubert (Luce Hubert)	D212	Muramatsu Takanari (村松 貴有)	B101
Kitagawa Yuya (北川 裕也)	P361			Murata Akihiko (村田 昭彦)	P352
Kitakoga Shiho (北古賀 識帆)	D369	< M >		Murata Fumie (村田 文絵)	P134
Kitamura Takeshi (北村 岳史)	P311	Machida Shunichi (町田 駿一)	P304	Murata Kotaro (村田 浩太郎)	P384
Kitamura Yuji (北村 祐二)	P109	Machida Toshinobu (町田 敏暢)	B153	Murazaki Kazuyo (村崎 万代)	C162
Kitoh Akio (鬼頭 昭雄)	A211	Maeda Hidetoshi (前田 英俊)	C367		
Kobayashi Chiaki (小林 ちあき)	D356	Maejima Yasumitsu (前島 康光)	B310	< N >	

Nagahama Yoshihiro (長浜 芳寛)	P369	Obikawa Hiroki (帯川 裕基)	C360	Sakai Tetsu (酒井 哲)	C106
Nagai Tomohiro (永井 智広)	P179	Oda Mayuko (小田 真祐子)	P113	Sakamaki Hiroshi (酒巻 洋)	P3a1
Nagao Takashi (永尾 隆)	A361	Odo Minami (尾堂 深南)	P365	Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊)	P142
Nagoshi Toshiyuki (名越 利幸)	D117	Ogata Koto (緒方 香都)	D302	Sakazaki Takatoshi (坂崎 貴俊)	P367
Nagumo Nobuhiro (南雲 信宏)	P110	Ogawa Fumiaki (小川 史明)	C164	Sakuragi Tomoaki (櫻木 智明)	P137
Nakaegawa Tosiya (仲江川 敏之)	A210	Ogawa Mariko (小川まり子)	P195	Sakurai Mayuko (櫻井 万祐子)	P177
Nakai Sento (中井 専人)	B304	Ogino Shin-ya (荻野 慎也)	P135	Sakurai Namiko (櫻井 南海子)	P326
Nakai Sento (中井 専人)	P355	Ohata Tsuyoshi (大羽田 剛史)	P169	Sano Takuki (佐野 琢己)	P368
Nakajima Hideaki (中島 英彰)	D374	Ohba Masamichi (大庭 雅道)	P378	Sano Tetsuya (佐野 哲也)	P132
Nakajima Keigo (中島 慶悟)	D116	Oh'izumi Mitsuo (大泉 三津夫)	A215	Sasai Takahiro (佐々井 崇博)	C359
Nakajima Ko (中島 虹)	P302	Ohno Yuichi (大野 裕一)	A354	Sasaki Hidetaka (佐々木 秀孝)	P153
Nakajima Takashi (中島 孝)	A358	Ohno Yuichi (大野 裕一)	B161	Sasaki Miki (佐々木 実紀)	P310
Nakajima Teruyuki (中島 映至)	A351	Ohtake Hideaki (大竹 秀明)	P316	Sasaki Taisei (佐々木 大成)	P323
Nakajo Tomoyuki (中城 智之)	D210	Oikawa Eiji (及川 栄治)	C210	Sato Eiichi (佐藤 英一)	B315
Nakamura Kazuki (中村 一樹)	A314	O'ishi Ryouta (大石 龍太)	C354	Sato Kaori (佐藤 可織)	A356
Nakamura Kenji (中村 健治)	A159	Oishi Satoru (大石 哲)	P1a0	Sato Kaoru (佐藤 薫)	D360
Nakamura Kozo (中村 晃三)	B306	Oizumi Tsutao (大泉 伝)	P111	Sato Kazutoshi (佐藤 和敏)	B358
Nakamura Mototaka (中村 元隆)	C163	Okada Maki (岡田 牧)	P396	Sato Kazutoshi (佐藤 和敏)	P172
Nakamura Tetsu (中村 哲)	B361	Okada Masashi (岡田 将志)	P346	Sato Naoki (佐藤 尚毅)	C153
Nakanishi Mikio (中西 幹郎)	P306	Okada Yasuko (岡田 靖子)	B207	Sato Tomonori (佐藤 友徳)	B351
Nakano Yuko (中野 優子)	P371	Okamoto Hajime (岡本 創)	A355	Sato Yousuke (佐藤 陽祐)	P184
Nakanowatari Takuya (中野渡 拓也)	B359	Okamoto Kozo (岡本 幸三)	A158	Satoh Masaki (佐藤 正樹)	A367
Nakayama Hideaki (中山 秀晃)	C304	Okamoto Kozo (岡本 幸三)	A151	Satoh Shinsuke (佐藤 晋介)	D205
Nasuno Tomoe (那須野 智江)	D158	Okubo Riko (沖 理子)	A353	Sawada Junnya (澤田 淳也)	C112
Nejime Yuta (寝占 祐太)	P103	Okubo Sayuri (大久保 さゆり)	P356	Sawada Yohei (澤田 洋平)	C355
Niino Hiroshi (新野 宏)	B151	Okubo Takumi (大窪 拓未)	P328	Seiki Tatsuya (清水 達也)	B302
Ninomiya Daiki (二宮 大輝)	P342	Okuhara Kohei (奥原 幸平)	P366	Seiki Tatsuya (清水 達也)	P321
Ninomiya Kozo (二宮 洸三)	B204	Okuro Atsushi (大黒 篤司)	P3a2	Seino Naoko (清野 直子)	B209
Ninomiya Kozo (二宮 洸三)	B205	Okuyama Arata (奥山 新)	P3a3	Seki Takanori (関 隆則)	C313
Nishi Noriyuki (西 憲敬)	P377	Origuchi Seiji (折口 征二)	A304	Seki Yoshihiro (関 義広)	A352
Nishida Tomoya (西田 智哉)	C161	Ose Tomoaki (尾瀬 智昭)	A108	Sekiya Takashi (関谷 高志)	C108
Nishihashi Masahide (西橋 政秀)	B115	Oshiro Megumi (大城 萌美)	P358	Sekiyama Tsuyoshi (関山 剛)	C206
Nishii Kazuaki (西井 和晃)	B353	Ota Ayano (大田 彩乃)	P185	Seko Hiromu (瀬古 弘)	A303
Nishikawa Hatsumi (西川 はつみ)	C152	Otani Kazuo (大谷 和男)	P171	Seko Hiromu (瀬古 弘)	P314
Nishikawa Masanori (西川 将典)	A160	Otsuka Michiko (大塚 道子)	A308	Seo Yasuharu (瀬尾 康晴)	P359
Nishimori Motoki (西森 基貴)	P392	Otsuka Natsuko (大塚 夏子)	P188	Sherriff-tadano Sam (シェリフ多田野 サム)	P170
Nishinaka Kimiko (西中 規実子)	D303	Otsuka Shigenori (大塚 成徳)	P313	Shibuya Ryosuke (澁谷 亮輔)	D301
Nishizawa Keiichi (西澤 慶一)	P178	Oyama Ryo (小山 亮)	D163	Shido Fumitake (志藤 文武)	P106
Niwano Masashi (庭野 匡思)	P164	Oyama Ryo (小山 亮)	P395	Shigeta Yoshinori (重田 祥範)	P102
Nodzu Masato (野津 雅人)	A201	< S >		Shimada Masaki (島田 正樹)	P318
Noguchi Shunsuke (野口 峻佑)	D353	Saito Atsushi (齐藤 淳志)	C365	Shimada Teruhisa (島田 照久)	A116
Nohara Daisuke (野原 大輔)	A202	Saito Atsushi (斎藤 篤思)	P124	Shimada Udai (嶋田 宇大)	P140
Nohara Daisuke (野原 大輔)	P118	Saito Izumi (齋藤 泉)	D105	Shimada Yoichi (嶋田 陽一)	P363
Nosaka Masaya (野坂 真也)	P151	Saito Kazuo (齐藤 和雄)	P336	Shimasaku Yuki (嶋作 悠希)	D107
Nozawa Tomohiro (野澤 知弘)	P127	Saito Kazuyuki (齐藤 和之)	C357	Shimizu Satoru (清水 暁)	P107
< O >		Saito Masanori (齋藤 雅典)	P387	Shimizu Shingo (清水 慎吾)	B218
Obama Risa (小濱 里沙)	P362	Saito Sadao (齐藤 貞夫)	B313	Shimoji Nobuaki (下地 伸明)	P125
		Saitoh Naoko (齋藤 尚子)	P379	Shimose Ken-ichi (下瀬 健一)	P117

Shimose Ken-ichi (下瀬 健一) P317
 Shinoda Taro (篠田 太郎) D152
 Shiotani Masato (塩谷 雅人) D351
 Shiraishi Shouji (白石 晶二) C305
 Shirooma Ryuichi (城岡 竜一) D151
 Shoji Takamichi (庄司 貴成) D306
 Shoji Yoshinori (小司 禎敦) B210
 Shusse Yukari (出世 ゆかり) P126
 Sueki Kenta (末木 健太) B103
 Sugawara Hirofumi (菅原 広史) D114
 Sugawara Satoshi (菅原 敏) C101
 Sugimoto Nobuo (杉本 伸夫) A363
 Sugimoto Norihiko (杉本 憲彦) D103
 Sugimoto Shusaku (杉本 周作) P161
 Sugimoto Soichiro (杉本 聡一郎) B301
 Sugimura Masatoshi (杉村 昌俊) P196
 Sugita Takafumi (杉田 考史) P163
 Sugiyama Daisuke (杉山 大祐) P181
 Sugiyama Ko-ichiro (杉山 耕一郎) P116
 Sulistyowati Reni (スリスタワチ レニ) B211
 Sumi Yukari (角 ゆかり) P141
 Suzuki Haruka (鈴木 はるか) D304
 Suzuki Makoto (鈴木 睦) D215
 Suzuki Tomoyuki (鈴木 智幸) P174
 Suzuki-parker Asuka (鈴木パーカー 明日香) P193

< T >

Tachiiri Kaoru (立入 郁) P165
 Tai Waka (田井 わか) B114
 Tajiri Takuya (田尻 拓也) B309
 Takahashi Chiharu (高橋 千陽) D161
 Takahashi Hiroshi (高橋 洋) P156
 Takahashi Hiroshi (高橋 洋) P353
 Takahashi Katsumi (高橋 克実) D104
 Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) A155
 Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) P122
 Takahashi Nobuto (高橋 信人) P192
 Takahashi Tsutomu (高橋 劭) B119
 Takahashi Yoshiyuki (高橋 芳幸) D101
 Takane Yuya (高根 雄也) P194
 Takano Tetsuo (高野 哲夫) P101
 Takayabu Yukari (高菰 縁) A152
 Takeda Kazutaka (武田 一孝) D169
 Takegawa Nobuyuki (竹川 暢之) B157
 Takehi Fukiko (武樋 路子) C157
 Takemi Tetsuya (竹見 哲也) D173
 Takemura Kazushi (武村 一史) A313
 Takeoka Haruka (竹岡 遼) P176

Takimoto Takahiro (滝本 貴弘) C361
 Tanaka Hiroharu (田中 博春) P159
 Tanaka Kenji (田中 健路) C301
 Tanaka Kenji (田中 健路) P390
 Tanaka Sho (田中 翔) B354
 Tanaka Taichu (田中 泰宙) C113
 Tanaka Takashi (田中 孝) P168
 Tanoue Masahiro (田上 雅浩) P381
 Tatara Hideyo (多々良 秀世) C302
 Tobase Yo (鳥羽瀬 世宇) P370
 Tochimoto Eigo (栃本 英伍) B102
 Toyoshima Koichi (豊嶋 紘一) D165
 Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) D164
 Tsubota Yukimasa (坪田 幸政) A315
 Tsuchiya Chikara (土屋 主税) D358
 Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂) P330
 Tsuji Hiroki (辻 宏樹) D171
 Tsuji Kentaro (辻 健太郎) C109
 Tsujino Satoki (辻野 智紀) P139
 Tsukamoto Osamu (塚本 修) D217
 Tsukamoto Osamu (塚本 修) P382
 Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) C211
 Tsutsui Junichi (筒井 純一) P144

< U >

Uchino Osamu (内野 修) D216
 Uchiyama Akihiro (内山 明博) D371
 Uchiyama Tsuneo (内山 常雄) D202
 Uchiyama Tsuneo (内山 常雄) D203
 Uehara Shigeki (上原 盛希) P325
 Uekiyo Naotaka (上清 直隆) A310
 Uesawa Daisaku (上沢 大作) P376
 Ueyama Masahito (植山 雅仁) C358
 Ukita Jinro (浮田 甚郎) B362
 Uno Fumichika (宇野 史睦) A110
 Ushio Tomoo (牛尾 知雄) A163
 Ushiyama Tomoki (牛山 朋来) B208

< W >

Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) P354
 Watanabe Akira (渡邊 明) C204
 Watanabe Akira (渡邊 明) P131
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P383
 Watanabe Koichi (渡辺 幸一) P385
 Watanabe Shigeru (渡邊 茂) A209
 Watanabe Shingo (渡辺 真吾) D363
 Watanabe Shunichi (渡邊 俊一) B202
 Watanabe Takeshi (渡邊 武志) A107
 Wetchayont Parichat (ウェチャヨン) P121

バリチャート)

< X >

Xu Jianqing (徐 健青) D110

< Y >

Yagi Ayako (八木 綾子) P308
 Yamada Daisuke (山田 大輔) C353
 Yamada Yoshinori (山田 芳則) D213
 Yamada Yumi (山田 悠海) C312
 Yamagami Akio (山上 晃央) D162
 Yamaguchi Yoshihito (山口 慶人) P389
 Yamaji Mika (山路 実加) P128
 Yamaji Moeke (山地 萌果) P388
 Yamamoto Akira (山本 哲) D204
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) A366
 Yamamoto Masayuki (山本 真之) D206
 Yamamoto Munehisa (山本 宗尚) A164
 Yamamoto Yuka (山本 由佳) C303
 Yamane Yusuke (山根 悠介) P133
 Yamashita Yousuke (山下 陽介) D355
 Yamasita Katsuya (山下 克也) B308
 Yamauchi Akira (山内 晃) C151
 Yamaura Tsuyoshi (山浦 剛) A103
 Yamazaki Akira (山崎 哲) P173
 Yamazaki Koji (山崎 孝治) B363
 Yanase Wataru (柳瀬 亘) D175
 Yasuda Tamaki (安田 珠幾) P341
 Yasunaga Kazuaki (安永 数明) A364
 Yasunaga Kazuaki (安永 数明) D159
 Yasunari Teppei (安成 哲平) C201
 Yasunari Teppei (安成 哲平) C202
 Yatagai Akiyo (谷田貝 亜紀代) C203
 Yokoi Satoru (横井 覚) D160
 Yokota Sho (横田 祥) B105
 Yokoyama Chie (横山 千恵) P148
 Yokoyama Yutaro (横山 裕太郎) C160
 Yoshida Kohei (吉田 康平) P340
 Yoshida Natsuki (吉田 奈津紀) P360
 Yoshida Ryuhei (吉田 龍平) C356
 Yoshida Ryuji (吉田 龍二) P115
 Yoshida Sho (吉田 翔) B314
 Yoshida Yukio (吉田 幸生) P1a4
 Yoshikado Hiroshi (吉門 洋) P375
 Yoshimori Masakazu (吉森 正和) A204
 Yoshimura Kei (芳村 圭) A311
 Yoshino Jun (吉野 純) P138
 Yoshino Katsumi (吉野 勝美) D112
 Yoshioka Mayumi (吉岡 真由美) D309

Yoshioka Nanao (吉岡 七緒)	D166	< Z >	
You Cheolhwan (ユー チャルハン)	P309	Zhang Daizhou (張 代洲)	B156
Yougai Toshirou (用具 敏郎)	B216		